



規格集

11 版

1989年 4月 1日 制定
1991年 4月 1日 改正 (1版)
1992年 4月 1日 改正 (2版)
1995年 4月 1日 改正 (3版)
1997年 4月 1日 改正 (4版)
1998年 4月 1日 改正 (5版)
2003年 10月 1日 改正 (6版)
2004年 10月 1日 改正 (7版)
2006年 10月 1日 改正 (8版)
2008年 4月 1日 改正 (9版)
2010年 10月 1日 改正 (10版)
2012年 10月 1日 改正 (11版)

日本鑄鉄ふた・排水器具工業会規格

JCW 規格改正のご案内

平成 24 年 10 月 1 日
日本鋳鉄ふた・排水器具工業会

国内各地の主だった鋳鉄製マンホールふた及び排水器具類のメーカーが参集し、信頼いただける製品の提供を目的として 1982 年(昭和 57 年)10 月に「日本鋳鉄ふた・排水器具工業会」を発足させました。

発会当初より、関連する JIS 規格および SHASE-S(旧：HASS 規格)の改定委員会に参画するとともに、会として技術基準の整備を進め、1989 年には初版の JCW 規格を発行致しました。もともと JCW 規格の源流は、旧建設省編纂の機械設備工事標準図にあります。当時、旧建設省より「標準図には機材名称のみを記述とし、詳細図面の掲載は行わない。」との方針が出されたことを機に、形状・寸法などの基準を工業会規格としてまとめたものです。その後、JCW301「ルーフドレン」、JCW201「床排水トラップ」の規格化、ゴム栓仕様の排水共栓やステンレス製金物の追加、通気金具の露出型・埋込型の追加など使いやすさと市場のニーズに合わせた改正を重ねて参りました。

また、本規格品と様々な市場流通品との識別のため、この度排水トラップの排水能力など、各品種に必要な性能について規格に盛り込み、第 11 版として発行する運びとなりました。

当工業会といたしましては、「JCW 規格の認定制度」を継続させるとともに、更なる品質向上に努め「より安心して使える JCW 規格」を目指し内容の充実を図って参りますので、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

・前版からの主な改正点は以下の通りです。

- JCW201 床排水トラップ …… 排水性能・ストレーナの耐荷重性能などについて新たに規定。
- JCW202 流しトラップ …… 排水性能・ストレーナの耐荷重性能などについて新たに規定。
- JCW203 床上掃除口 …… ふたの耐荷重について性能規格を追加しました。
- JCW204 排水金物 …… ストレーナの耐荷重について性能規格を追加しました。
- JCW103 弁榭ふた …… ふたの耐荷重について性能規格を追加しました。
- JCW104 弁きょう …… ふたの耐荷重について性能規格を追加しました。
- JCW105 量水器榭ふた …… ふたの耐荷重について性能規格を追加しました。
- JCW301 ルーフドレン …… 防水の掛り幅について規格を追加しました。

目 次

〔規格番号〕	〔名称〕	〔制定〕	〔改正〕	〔ページ〕
JCW201	床排水トラップ	1998	2012	1 ~ 10
JCW202	流しトラップ	1989	2012	11 ~ 16
JCW203	床上掃除口	1989	2012	17 ~ 21
JCW204	排水金物	1989	2012	22 ~ 29
JCW205	通気金具	1989	2012	30 ~ 34
JCW103	弁榭ふた	1989	2012	35 ~ 38
JCW104	弁きょう	1989	2012	39 ~ 42
JCW105	量水器榭ふた	1989	2012	43 ~ 46
JCW301	ルーフドレン	1992	2012	47 ~ 56

床排水トラップ

1. 適用範囲

この規格は、主として建築物に使用する床排水トラップ(以下、トラップという。)について規定する。

2. 引用規格

JIS B 0203	管用テーパねじ
JIS B 0202	管用平行ねじ
JIS G 4303	ステンレス鋼棒
JIS G 4305	冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯
JIS G 5121	ステンレス鋼鑄鋼品
JIS G 5501	ねずみ鑄鉄品
JIS H 3100	銅及び銅合金の板並びに条
JIS H 8617	ニッケルめっき及びニッケルクロムめっき
JIS H 5120	銅及び銅合金鑄物

3. 種類及び呼び

トラップの種類及び呼びは、表1のとおりとし、呼びは、その配管に用いる管の呼び径とする。

表1 種類及び呼び

種 類		呼 び	
P 形	非防水層用	T3A・T3A(SU)	40, 50, 65, 80, 100
	防水層用	T3B・T3B(SU)	40, 50, 65, 80, 100
変形P形	非防水層用	T16A・T16A(SU)	50, 80
	防水層用	T16B・T16B(SU)	50, 80
わん形	非防水層用	T5A・T5A(SU)	50, 65, 80, 100
	防水層用	T5B・T5B(SU)	50, 65, 80, 100

※ストレーナ及び金具枠がステンレス製の場合は種類の後に(SU)と表記する。

4. 性能

トラップの性能は、5.によって試験を行い、表2の規定に適合しなければならない。

表2 トラップの性能

性能項目	性能	適用箇条	
排水流量 ℓ/s	40A	1.0 以上	5.1
	50A	1.5 以上	
	65A	2.0 以上	
	80A	3.0 以上	
	100A	4.0 以上	
自掃力	90%以上が流出すること	5.2	
耐荷重	破壊荷重 1kN 以上	5.3	

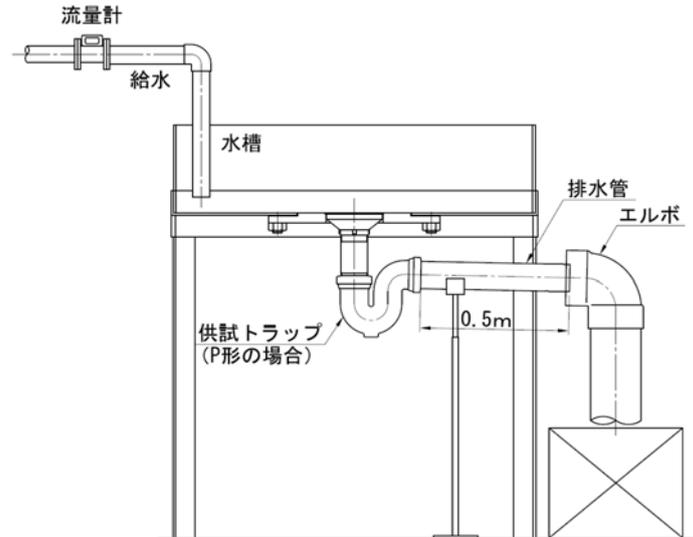
5. 試験方法

5.1 排水試験

図1に示すような水槽に供試トラップとトラップに適合する長さ0.5mの排水管を取り付け、排水管出口に排水抵抗とならないよう口径の大きいエルボを取り付ける。

水槽に10cmの高さまで水を満たした状態とし、排水とともに給水を行い、10cmの水位が保持されている状態での給水量をトラップの給水流量(ℓ/s)として計測するか又は、排水流量計によって排水流量(ℓ/s)を計測する。

図1 排水試験要領



5.2 自掃力試験

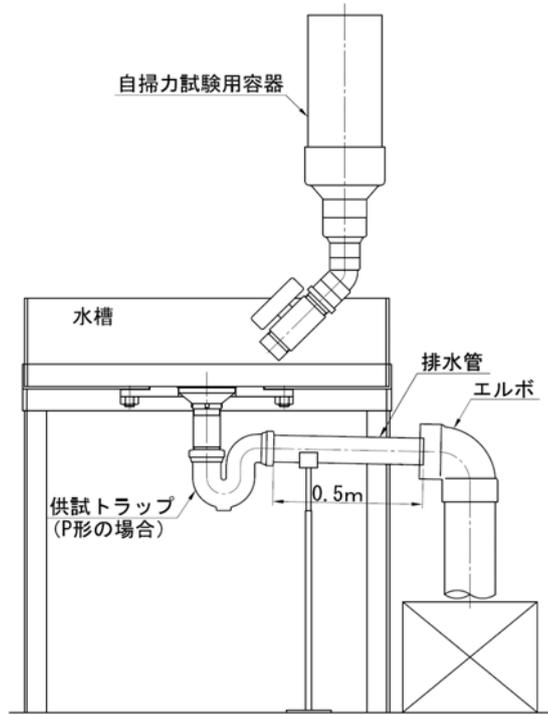
図2の装置を用いて、供試トラップに所定の封水深が確保されている事を確認の後、トラップの封水部に比重1.10~1.15の直径4.0mmのナイロン球を30個入れる。次に表3に示す水量を適当な容器で、水槽内に均一に流したときの排水管末端から、排水されたナイロン球の数を計測する。

この計測を3回繰り返し行い、排出量(%)の平均値を求める。

表3 試験水量

呼び方	水量 ℓ
40A	3
50A	5
65A	6
80A	8
100A	10

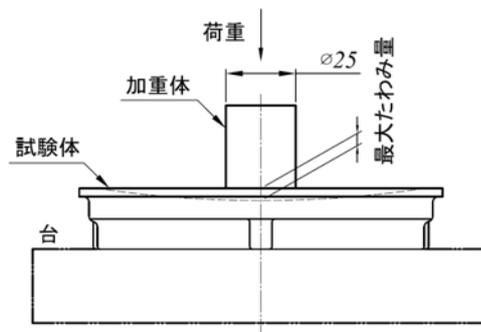
図2 自掃力試験要領



5.3 荷重試験

図3に示す様に試験体の枠を全面で支え、ストレーナ(試験体)の中央にφ25の大きさの加重体を載せ、破壊試験荷重に達するか、最大たわみ量が3mmを超えるまで徐々に荷重を加え、試験を行う。

図3 荷重試験要領



6. 構造

6.1 トラップの封水深は、50mm以上とし、各部の有効面積は、流出側口径の断面積以上とする。

6.2 ストレーナの孔径は、直径8mmの球及びバスケットの孔径は、直径6mmの球がそれぞれ通過しないこと。ただし、最小寸法で設ける指掛孔は、この限りでない。

7. 形状及び寸法

形状及び寸法は、付表1~6による。ただし、形状は、参考として示したもので規格の一部ではない。

8. 外観

トラップの内外面は滑らかで、割れ及び有害なキズ、イバリ、砂付などの欠点があってはならない。

9. 材料

9.1 材料

トラップの材料は、付表1~6による。ただし、材料は、材料名欄に規定するもの又は同等以上のものとする。

9.2 塗装

9.2.1 鋳鉄品は、内外面とも塗装しなければならない。

9.2.2 塗装を行う前に、内外面ともさび、スケール、その他の付着物を除去しなければならない。

9.2.3 塗装は樹脂塗装又は水溶性合成樹脂焼付塗装のいずれかによる。

9.2.4 塗装面には、泡、膨れ、はがれ、塗りだまり、塗り残し、異物の付着、著しい粘着、その他の欠点がなく、滑らかでなければならない。

備考 受渡当事者間の協定によって、上記以外の塗装を行ってもよい。

9.3 めっき

9.3.1 めっきを施す前に、内外面ともさび、スケール、その他の付着物を除去しなければならない。

9.3.2 ストレーナ及び金具枠(黄銅鋳物)のめっきは、**JIS H 8617**によるニッケルクロムめっきの2級以上とする。

9.3.3 バスケット(黄銅板又は黄銅鋳物)のめっきは、**JIS H 8617**によるニッケルめっきの2級以上とする。

9.3.4 めっき面には、膨れ、はがれ、くもり、ピンホール、その他の欠点があってはならない。

10. 検査

10.1 検査の種類と検査箇条目

検査は、形式検査と受渡し検査とに区分し、検査の箇条目はそれぞれ次の通りとする。なお、形式検査は、製品開発時又は金型など主要設備の変更の際に実施する事とし、受渡し検査は、抜取り検査方式にて、1生産ロットに対し最低1.0%の抜取率とする。

10.1.1 形式検査箇条目

- (1) 性能検査
- (2) 構造
- (3) 形状及び寸法検査
- (4) 外観検査
- (5) 材料検査

10.1.2 受渡し検査箇条目

- (1) 形状及び寸法検査
- (2) 外観検査

10.2 性能検査

性能検査は、箇条4の規定に適合しなければならない。

10.3 構造検査

構造検査は、箇条6の規定に適合しなければならない。

10.4 形状及び寸法検査

形状及び寸法検査は、箇条7の規定に適合しなければならない。

10.5 外観検査

外観検査は、箇条8の規定に適合しなければならない。

10.6 材料検査

材料検査は、箇条9の規定に適合しなければならない。

11. 呼び方

トラップの呼び方は、種類及び呼びによる。

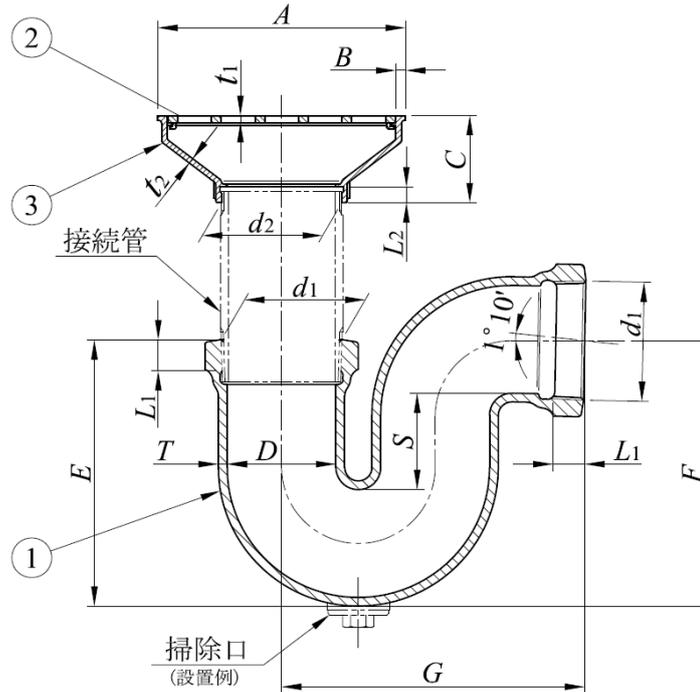
例 1. 床排水トラップ T3A 40

例 2. 床排水トラップ T3A(SU) 40

12. 表示

製品には、製造業者名又はその略号を表示しなければならない。

付表1 P形 非防水層用 床排水トラップ(T3A)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	ストレーナ	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
3	金具枠	ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
		黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121

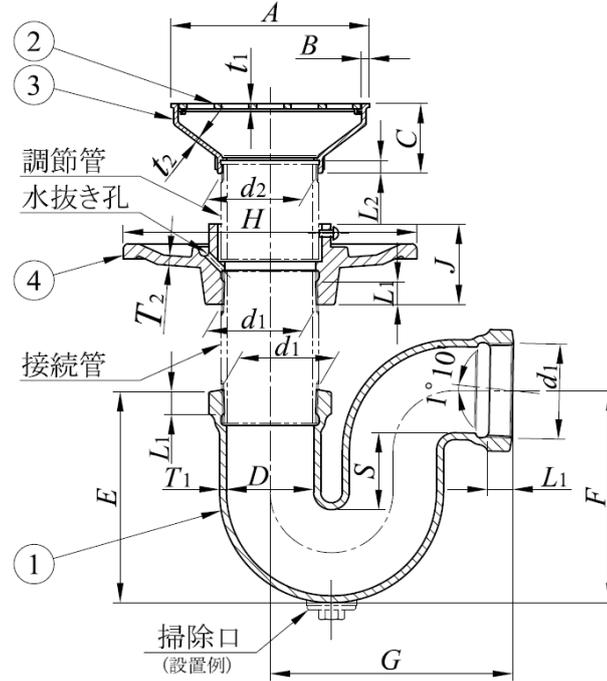
寸法

単位 mm

種類	呼び	d_1 ねじ基準径	D (最小)	S (最小)	E (最小)	F (最小)	G (最小)	L_1 (最小)	T (最小)	d_2 ねじ基準径	A (最小)	B (最小)	C (最小)	L_2 (最小)	t_1 (最小)	t_2 (最小)
T3A T3A(SU)	40	47.803	42	50	118.0	116	135	11	5.0	47.803	100	6	45	10	3.5	3.0
	50	59.614	53	50	130.0	134	148	13	5.0	59.614	130	6	50	10	3.5	3.5
	65	75.184	68	65	163.5	172	175	15	5.5	75.184	155	6	55	10	4.5	3.5
	80	87.884	81	65	180.0	192	204	17	6.0	87.884	180	6	60	10	5.5	4.0
	100	113.030	105	65	210.0	228	249	21	7.5	113.030	215	6	65	10	5.5	4.0

- 備考 1. ねじ部 d_1 は, JIS B 0203(管用テーパねじ)による。
 2. ねじ部 d_2 は, JIS B 0202(管用平行ねじ)による。
 3. 本体に掃除口を設ける場合の一例を, 付図本体底部に示す。

付表2 P形 防水層用 床排水トラップ(T3B)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	ストレーナ	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
3	金具枠	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
4	防水受けつば	ねずみ鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501

寸法

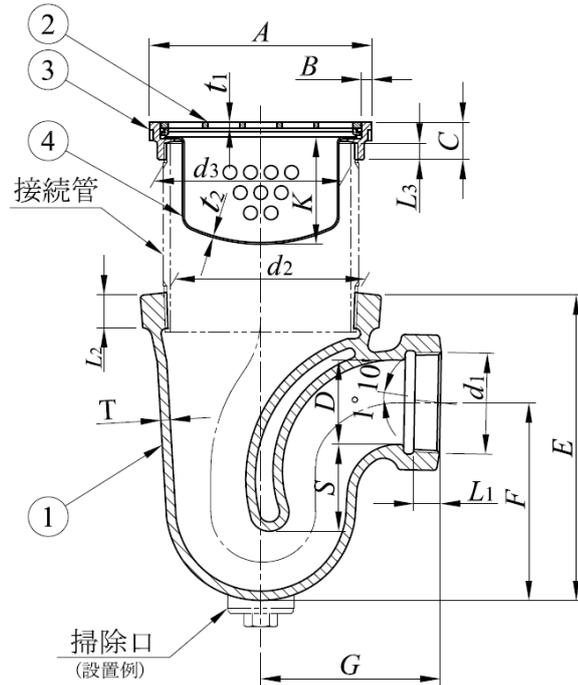
単位 mm

種類	呼び	d_1	D	S	E	F	G	L_1	T_1	d_2	A	B	C	L_2	t_1	t_2
		ねじ基準径	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)	ねじ基準径	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)
T3B T3B(SU)	40	47.803	42	50	118.0	116	135	11	5.0	47.803	100	6	45	10	3.5	3.0
	50	59.614	53	50	130.0	134	148	13	5.0	59.614	130	6	50	10	3.5	3.5
	65	75.184	68	65	163.5	172	175	15	5.5	75.184	155	6	55	10	4.5	3.5
	80	87.884	81	65	180.0	192	204	17	6.0	87.884	180	6	60	10	5.5	4.0
	100	113.030	105	65	210.0	228	249	21	7.5	113.030	215	6	65	10	5.5	4.0

呼び	H	J	T_2
	(最小)	(最小)	(最小)
40	190	55	5.0
50	210	60	5.5
65	230	60	5.5
80	240	65	5.5
100	270	65	5.5

- 備考
1. ねじ部 d_1 は, JIS B 0203(管用テーパねじ)による。
 2. ねじ部 d_2 は, JIS B 0202(管用平行ねじ)による。
 3. 防水受けつばの水抜き孔は, 周囲等分3か所以上とする。
 4. 本体に掃除口を設ける場合の一例を, 付図本体底部に示す。

付表3 変形P形 非防水層用 床排水トラップ(T16A)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鉄製品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	ストレーナ	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
3	金具枠	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
4	バスケット	黄銅板 (C2600・C2680) (C2720・C2801)	JIS H 3100
		黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼板 (SUS304)	JIS G 4305

寸法

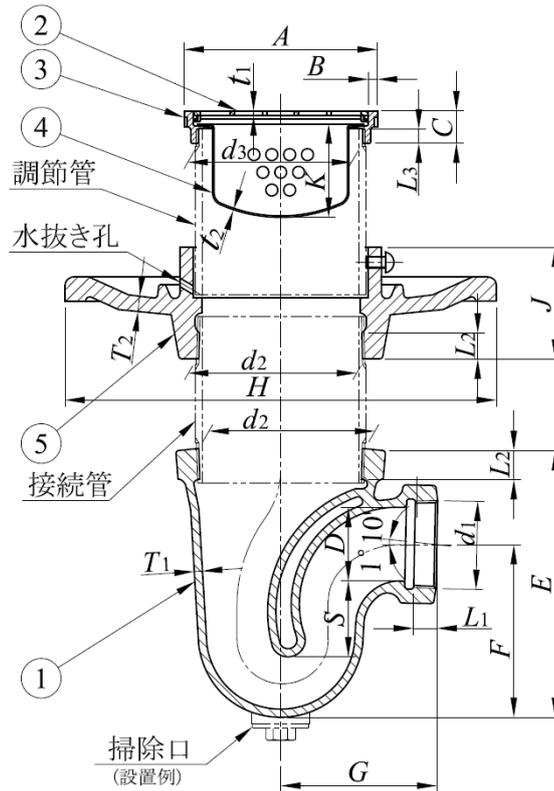
単位 mm

種類	呼び	d_1 ねじ基準径	d_2 ねじ基準径	D (最小)	S (最小)	E (最小)	F (最小)	G (最小)	L_1 (最小)	L_2 (最小)	T (最小)	d_3 ねじ基準径	A (最小)	B (最小)	C (最小)	L_3 (最小)
T16A	50	59.614	113.030	53	50	180	115	105	13	21	6	113.030	130	6	22	10
T16A(SU)	80	87.884	163.830	81	50	235	145	135	17	24	6	163.830	180	6	26	10

呼び	t_1 (最小)	K (最小)	t_2 (最小)
50	3.5	60	0.8
80	5.5	60	0.8

- 備考
- ねじ部 d_1 及び d_2 は, JIS B 0203(管用テーパねじ)による。
 - ねじ部 d_3 は, JIS B 0202(管用平行ねじ)による。
 - バスケットの有無は, 受渡当事者間の協定による。
 - 本体に掃除口を設ける場合の一例を, 付図本体底部に示す。

付表4 変形P形 防水層用 床排水トラップ(T16B)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	ストレーナ	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
3	金具	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
4	バスケット	黄銅板 (C2600・C2680) (C2720・C2801)	JIS H 3100
		黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼板 (SUS304)	JIS G 4305
5	防水受けつば	ねずみ鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501

寸法

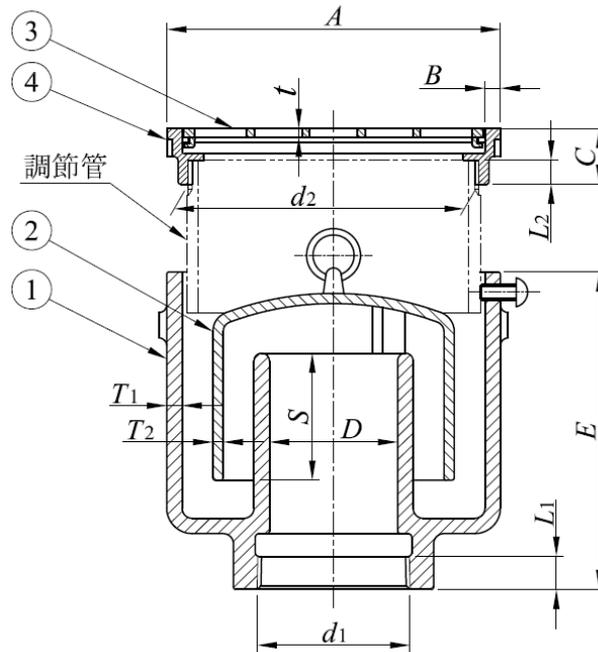
単位 mm

種類	呼び	d_1 ねじ基準径	d_2 ねじ基準径	D (最小)	S (最小)	E (最小)	F (最小)	G (最小)	L_1 (最小)	L_2 (最小)	T_1 (最小)	d_3 ねじ基準径	A (最小)	B (最小)	C (最小)	L_3 (最小)	t_1 (最小)
T16B T16B(SU)	50	59.614	113.030	53	50	180	115	105	13	21	6	113.030	130	6	22	10	3.5
	80	87.884	163.830	81	50	235	145	135	17	24	6	163.830	180	6	26	10	5.5

呼び	K (最小)	t_2 (最小)	H (最小)	J (最小)	T_2 (最小)
50	60	0.8	270	65	5.5
80	60	0.8	330	70	6.0

- 備考1. ねじ部 d_1 及び d_2 は, JIS B 0203(管用テーパねじ)による。
 2. ねじ部 d_3 は, JIS B 0202(管用平行ねじ)による。
 3. バスケットの有無は, 受渡当事者間の協定による。
 4. 防水受けつばの水抜き孔は, 周囲等分3か所以上とする。
 5. 本体に掃除口を設ける場合の一例を, 付図本体底部に示す。

付表5 わん形 非防水層用 床排水トラップ(T5A)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	わん	ねずみ鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
		合成樹脂	
3	ストレーナ	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
4	金具枠	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121

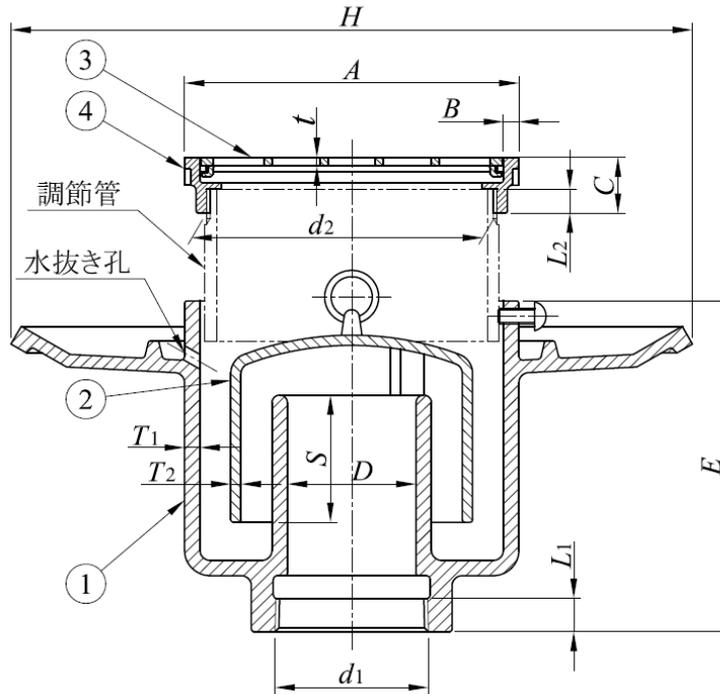
寸法

単位 mm

種類	呼び	d_1 ねじ基準径	D (最小)	S (最小)	E (最小)	L_1 (最小)	T_1 (最小)	T_2 (最小)	d_2 ねじ基準径	A (最小)	B (最小)	C (最小)	L_2 (最小)	t (最小)
T5A T5A(SU)	50	59.614	50	50	115	13	4.5	3.0	113.030	130	6	22	10	3.5
	65	75.184	65	50	115	15	5.0	3.5	138.430	155	6	26	10	4.5
	80	87.884	80	50	125	17	5.0	4.0	163.830	180	6	26	10	5.5
	100	113.030	100	50	125	21	5.0	4.0	214.630	230	6	26	10	5.5

備考 1. ねじ部 d_1 は, JIS B 0203(管用テーパねじ)による。
2. ねじ部 d_2 は, JIS B 0202(管用平行ねじ)による。

付表 6 わん形 防水層用 床排水トラップ(T5B)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	わん	ねずみ鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
		合成樹脂	
3	ストレーナ	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
4	金具枠	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121

寸法

単位 mm

種類	呼び	d_1 ねじ基準径	D (最小)	S (最小)	E (最小)	H (最小)	L_1 (最小)	T_1 (最小)	T_2 (最小)	d_2 ねじ基準径	A (最小)	B (最小)	C (最小)	L_2 (最小)	t (最小)
T5B T5B(SU)	50	59.614	50	50	115	235	13	4.5	3.0	113.030	130	6	22	10	3.5
	65	75.184	65	50	115	260	15	5.0	3.5	138.430	155	6	26	10	4.5
	80	87.884	80	50	125	285	17	5.0	4.0	163.830	180	6	26	10	5.5
	100	113.030	100	50	125	340	21	5.0	4.0	214.630	230	6	26	10	5.5

- 備考 1. ねじ部 d_1 は, JIS B 0203(管用テーパねじ)による。
 2. ねじ部 d_2 は, JIS B 0202(管用平行ねじ)による。
 3. 防水受けつばの水抜き孔は, 周囲等分3か所以上とする。

流 し ト ラ ッ プ

1. 適用範囲

この規格は、金属製流し及びコンクリート製流しに用いる鑄鉄製排水トラップ(以下、トラップという。)について規定する。

2. 引用規格

JIS G 4303	ステンレス鋼棒
JIS G 4305	冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯
JIS G 5121	ステンレス鋼鑄鋼品
JIS G 5501	ねずみ鑄鉄品
JIS H 3100	銅及び銅合金の板並びに条
JIS H 5120	銅及び銅合金鑄物
JIS H 8617	ニッケルめっき及びニッケルクロムめっき
JIS K 6380	ゴムパッキン材料

3. 種類及び呼び

トラップの種類及び呼びは、表1のとおりとし、呼びは、その配管に用いる管の呼び径とする。

表1 種類及び呼び

種 類		呼 び
金属流し用	T14AA・T14AA(SU) (ストレーナ付き)	40,50
	T14AB・T14AB(SU) (ふた付き)	
コンクリート製流し用	T14BA・T14BA(SU) (ストレーナ付き)	40,50
	T14BB・T14BB(SU) (ふた付き)	

※ストレーナ及び金具枠がステンレス製の場合は種類の後に(SU)と表記する。

4. 性能

トラップの性能は、5.によって試験を行い、表2の規定に適合しなければならない。

表2 トラップの性能

性能項目		性能	適用箇条
排水流量 ℓ/s	40A	1.0 以上	5.1
	50A	1.5 以上	
自掃力		90%以上が流出すること	5.2

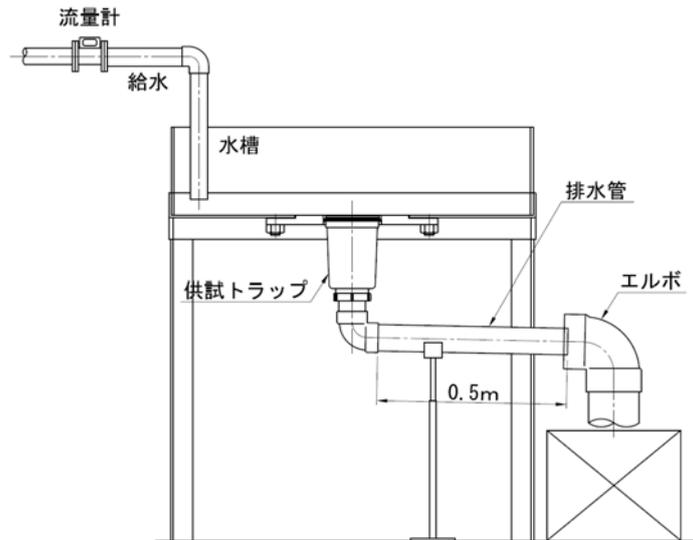
5. 試験方法

5.1 排水試験

図1に示すような水槽に供試トラップとトラップに適合する長さ0.5mの排水管を取り付け、排水管出口に排水抵抗とならないよう口径の大きいエルボを取り付ける。

水槽に10cmの高さまで水を満たした状態とし、排水とともに給水を行い、10cmの水位が保持されている状態での給水量をトラップの給水流量(ℓ/s)として計測するか又は、排水流量計によって排水流量(ℓ/s)を計測する。

図1 排水試験要領



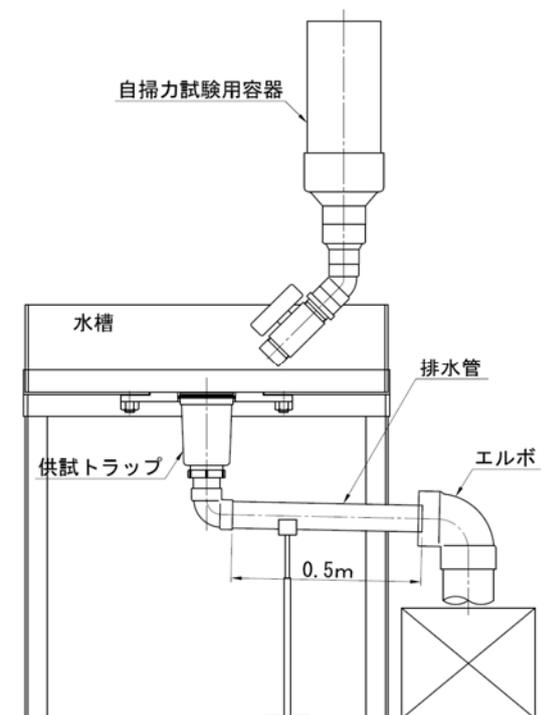
5.2 自掃力試験

図2の装置を用いて、供試トラップに所定の封水深が確保されている事を確認の後、トラップの封水部に比重1.10~1.15の直径4.0mmのナイロン球を30個入れる。次に表3に示す水量を適当な容器で、水槽内に均一に流したときの排水管末端から、排水されたナイロン球の数を計測する。この計測を3回繰り返し行い、排出量(%)の平均値を求める。

表3 試験水量

呼び方	水量 \varnothing
40A	3
50A	5

図2 自掃力試験要領



6. 構造

- 6.1 トラップの封水深は、50mm 以上とし、各部の有効面積は、流出側口径の断面積以上とする。
- 6.2 ストレーナの孔径は、直径 8mm の球及びバスケットわんの孔径は、直径 6mm の球がそれぞれ通過しないこと。ただし、最小寸法で設ける指掛孔は、この限りでない。
- 6.3 ふたは簡易密閉形とする。

7. 形状及び寸法

形状及び寸法は、付表 1~2 による。ただし、形状は、参考として示したもので規格の一部ではない。

8. 外観

トラップの内外面は滑らかで、割れ及び有害なキズ、イバリ、砂付などの欠点があってはならない。

9. 材料

9.1 材料

トラップの材料は、付表 1~2 による。ただし、材料は、材料名欄に規定するもの又は同等以上のものとする。

9.2 塗装

- 9.2.1 鋳鉄品は、内外面とも塗装しなければならない。
 - 9.2.2 塗装を行う前に、内外面ともさび、スケール、その他の付着物を除去しなければならない。
 - 9.2.3 塗装は樹脂塗装又は水溶性合成樹脂焼付塗装のいずれかによる。
 - 9.2.4 塗装面には、泡、膨れ、はがれ、塗りだまり、塗り残し、異物の付着、著しい粘着、その他の欠点がなく、滑らかでなければならない。
- 備考** 受渡当事者間の協定によって、上記以外の塗装を行ってもよい。

9.3 めっき

- 9.3.1 めっきを施す前に、内外面ともさび、スケール、その他の付着物を除去しなければならない。
- 9.3.2 ストレーナ、及び金具枠(黄銅铸件)のめっきは、JIS H 8617 によるニッケルクロムめっきの 2 級以上とする。
- 9.3.3 バスケットわん(黄銅板又は黄銅铸件)のめっきは、JIS H 8617 によるニッケルめっきの 2 級以上とする。
- 9.3.4 めっき面には、膨れ、はがれ、くもり、ピンホール、その他の欠点があってはならない。

10. 検査

10.1 検査の種類と検査箇条目

検査は、形式検査と受渡し検査とに区分し、検査の箇条目はそれぞれ次の通りとする。なお、形式検査は、製品開発時又は金型など主要設備の変更の際に実施する事とし、受渡し検査は、抜取り検査方式にて、1 生産ロットに対し最低 1.0%の抜取率とする。

10.1.1 形式検査箇条目

- (1) 性能検査
- (2) 構造
- (3) 形状及び寸法検査
- (4) 外観検査
- (5) 材料検査

10.1.2 受渡し検査箇条目

- (1) 形状及び寸法検査
- (2) 外観検査

10.2 性能検査

性能検査は、箇条 4.の規定に適合しなければならない。

10.3 構造検査

構造検査は、箇条 6.の規定に適合しなければならない。

10.4 形状及び寸法検査

形状及び寸法検査は、箇条 7.の規定に適合しなければならない。

10.5 外観検査

外観検査は、箇条 8.の規定に適合しなければならない。

10.6 材料検査

材料検査は、箇条 9.の規定に適合しなければならない。

11. 呼び方

トラップの呼び方は、種類及び呼びによる。

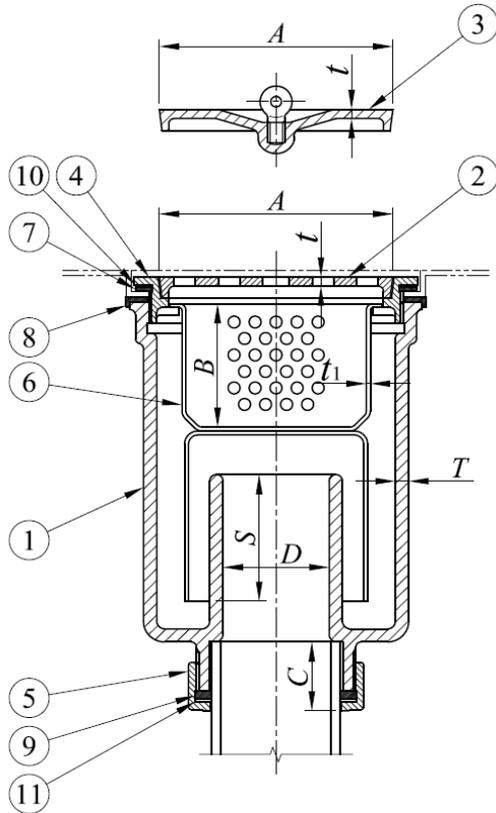
例 1. 流しトラップ T14AA 40

例 2. 流しトラップ T14AA(SU) 40

12. 表示

製品には、製造業者名又はその略号を表示しなければならない。

付表1 金属流し用トラップ(T14AA,AB)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

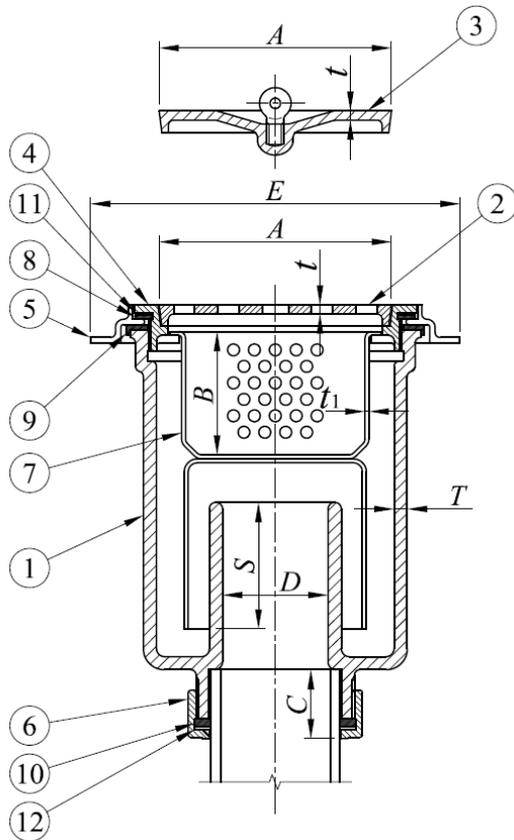
番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	ストレーナ	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
3	ふた	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
4	金具枠	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
5	ナット	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
6	バスケット わん	黄銅板 (C2600・C2680) (C2720・C2801)	JIS H 3100
		黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼板 (SUS304)	JIS G 4305
7	パッキン A	合成ゴム (CR など)	JIS K 6380
8	パッキン B	合成ゴム (CR など)	JIS K 6380
9	パッキン C	合成ゴム (CR など)	JIS K 6380
10	ワッシャ A	プラスチック	
		黄銅板 (C2600・C2680) (C2720・C2801)	JIS H 3100
11	ワッシャ B	プラスチック	
		黄銅板 (C2600・C2680) (C2720・C2801)	JIS H 3100

寸法

単位 mm

種類	呼び	D (最小)	S (最小)	T (最小)	t (最小)	A (最小)	B (最小)	C (最小)	t ₁ (最小)
T14AA・T14AA(SU)	40	40	50	3.0	3.0	88	44	25	0.8
T14AB・T14AB(SU)	50	50	50	3.0	3.0	100	45	27	0.8

付表2 コンクリート流し用トラップ(T14BA,BB)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	ストレーナ	黄銅鋳物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼鋳鋼品 (SCS13)	JIS G 5121
3	ふた	黄銅鋳物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼鋳鋼品 (SCS13)	JIS G 5121
4	金具枠	黄銅鋳物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼鋳鋼品 (SCS13)	JIS G 5121
5	埋め込み金具	黄銅鋳物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼鋳鋼品 (SCS13)	JIS G 5121
6	ナット	黄銅鋳物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼鋳鋼品 (SCS13)	JIS G 5121
7	バスケット わん	黄銅板 (C2600・C2680) (C2720・C2801)	JIS H 3100
		黄銅鋳物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼板 (SUS304)	JIS G 4305
8	パッキンA	合成ゴム (CR など)	JIS K 6380
9	パッキンB	合成ゴム (CR など)	JIS K 6380
10	パッキンC	合成ゴム (CR など)	JIS K 6380
11	ワッシャA	プラスチック	—
		黄銅板 (C2600・C2680) (C2720・C2801)	JIS H 3100
12	ワッシャB	プラスチック	—
		黄銅板 (C2600・C2680) (C2720・C2801)	JIS H 3100

寸法

単位 mm

種類	呼び	D (最小)	S (最小)	T (最小)	t (最小)	A (最小)	B (最小)	C (最小)	E (最小)	t ₁ (最小)
T14BA・T14BA(SU)	40	40	50	3.0	3.0	88	44	25	140	0.8
T14BB・T14BB(SU)	50	50	50	3.0	3.0	100	45	27	160	0.8

床 上 掃 除 口

1. 適用範囲

この規格は、主として排水配管に用いる床上掃除口(以下、掃除口という。)について規定する。

2. 引用規格

JIS B 0203	管用テーパねじ
JIS B 0202	管用平行ねじ
JIS G 4303	ステンレス鋼棒
JIS G 5121	ステンレス鋼鑄鋼品
JIS G 5501	ねずみ鑄鉄品
JIS H 8617	ニッケルめっき及びニッケルクロムめっき
JIS H 5120	銅及び銅合金鑄物
JIS K 6380	ゴムパッキン材料

3. 種類及び呼び

掃除口の種類及び呼びは、表1のとおりとし、呼びは、その配管に用いる管の呼び径とする。

表1 種類及び呼び

種 類		呼 び
非防水層用	COA・COA(SU)	40, 50, 65, 80, 100
防水層用	COB・COB(SU)	40, 50, 65, 80, 100

※ふた及び金具枠がステンレス製の場合は種類の後に(SU)と表記する。

4. 性能

掃除口は、次の試験を行い、表2の規定に適合しなければならない。

表2 性能

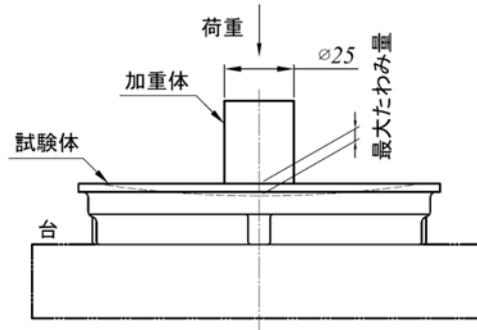
性能項目	性能	適用箇条
耐荷重	破壊荷重 3kN 以上	5.1

5. 試験方法

5.1 荷重試験

図1に示す様に試験体の枠を全面で支え、ふた(試験体)の中央にφ25の大きさの加重体を載せ、破壊試験荷重に達するか、最大たわみ量が3mmを超えるまで徐々に荷重を加え、試験を行う。

図1 荷重試験要領



6. 形状及び寸法

形状及び寸法は、付表 1~2 による。ただし、形状は、参考として示したもので規格の一部ではない。

7. 外観

掃除口の内外面は滑らかで、割れ及び有害なキズ、イバリ、砂付などの欠点があってはならない。

8. 材料

8.1 材料

掃除口の材料は、付表 1~2 による。ただし、材料は、材料名欄に規定するもの又は同等以上のものとする。

8.2 塗装

8.2.1 鋳鉄品は、内外面とも塗装しなければならない。

8.2.2 塗装を行う前に、内外面ともさび、スケール、その他の付着物を除去しなければならない。

8.2.3 塗装は樹脂塗装又は水溶性合成樹脂焼付塗装のいずれかによる。

8.2.4 塗装面には、泡、膨れ、はがれ、塗りだまり、塗り残し、異物の付着、著しい粘着、その他の欠点がなく、滑らかでなければならない。

備考 受渡当事者間の協定によって、上記以外の塗装を行ってもよい。

8.3 めっき

8.3.1 めっきを施す前に、内外面ともさび、スケール、その他の付着物を除去しなければならない。

8.3.2 ふた、及び金具枠(黄銅鋳物)のめっきは、JIS H 8617 によるニッケルクロムめっきの2級以上とする。

8.3.3 めっき面には、膨れ、はがれ、くもり、ピンホール、その他の欠点があってはならない。

9. 検査

9.1 検査の種類と検査箇条目

検査は、形式検査と受渡し検査とに区分し、検査の箇条目はそれぞれ次の通りとする。なお、形式検査は、製品開発時又は金型など主要設備の変更の際に実施する事とし、受渡し検査は、抜取り検査方式にて、1生産ロットに対し最低1.0%の抜取率とする。

9.1.1 形式検査箇条目

- (1) 性能検査
- (2) 構造
- (3) 形状及び寸法検査
- (4) 外観検査
- (5) 材料検査

9.1.2 受渡し検査箇条目

- (1) 形状及び寸法検査
- (2) 外観検査

9.2 性能検査

性能検査は、簡条 4.の規定に適合しなければならない。

9.3 形状及び寸法検査

形状及び寸法検査は、簡条 6.の規定に適合しなければならない。

9.4 外観検査

外観検査は、簡条 7.の規定に適合しなければならない。

9.5 材料検査

材料検査は、簡条 8.の規定に適合しなければならない。

10. 呼び方

掃除口の呼び方は、種類及び呼びによる。

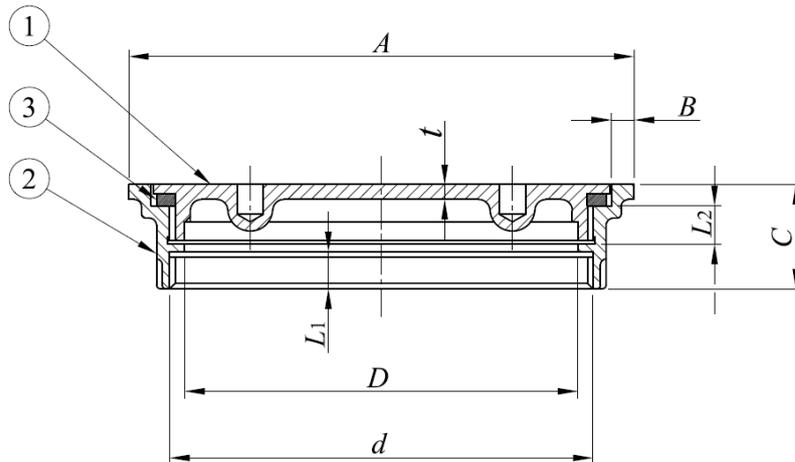
例 1. 床上掃除口 COA 40

例 2. 床上掃除口 COA(SU) 40

11. 表示

製品には、製造業者名又はその略号を表示しなければならない。

付表1 非防水層用 床上掃除口の材料、形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	ふた	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
2	金具枠	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
3	パッキン	合成ゴム (CR など)	JIS K 6380

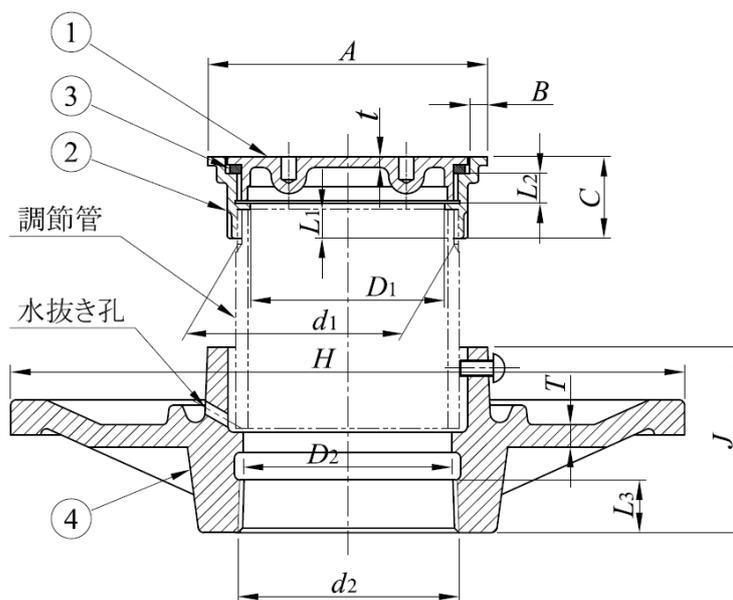
寸法

単位 mm

種類	呼び	d ねじ基準径	D (最小)	A (最小)	B (最小)	C (最小)	L ₁ (最小)	L ₂ (最小)	t (最小)
COA COA(SU)	40	47.803	40	65	6	24	10	7	3.0
	50	59.614	50	80	6	24	10	7	3.0
	65	75.184	65	95	6	28	10	7	3.5
	80	87.884	80	110	6	28	10	7	3.5
	100	113.030	100	135	6	28	10	7	4.0

- 備考 1. ねじ部 d は、JIS B 0202(管用平行ねじ)による。
2. ふたのねじ部は、JIS B 0202(管用平行ねじ)による。

付表2 防水層用 床上掃除口の材料、形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	ふた	黄銅鑄物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼鑄鋼品 (SCS13)	JIS G 5121
2	金具枠	黄銅鑄物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼鑄鋼品 (SCS13)	JIS G 5121
3	パッキン	合成ゴム (CR など)	JIS K 6380
4	防水受けつば	ねずみ鑄鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501

寸法

単位 mm

種類	呼び	d_1 ねじ基準径	D_1 (最小)	A (最小)	B (最小)	C (最小)	L_1 (最小)	L_2 (最小)	t (最小)	d_2 ねじ基準径	D_2 (最小)	H (最小)	J (最小)	L_3 (最小)	T (最小)
COB COB(SU)	40	47.803	40	65	6	24	10	7	3.0	47.803	40	190	55	11	5.0
	50	59.614	50	80	6	24	10	7	3.0	59.614	50	210	60	13	5.5
	65	75.184	65	95	6	28	10	7	3.5	75.184	65	230	60	15	5.5
	80	87.884	80	110	6	28	10	7	3.5	87.884	80	240	65	17	5.5
	100	113.030	100	135	6	28	10	7	4.0	113.030	100	270	65	21	5.5

- 備考
- ねじ部 d_1 は、JIS B 0202(管用平行ねじ)による。
 - ふたのねじ部は、JIS B 0202(管用平行ねじ)による。
 - ねじ部 d_2 は、JIS B 0203(管用テーパねじ)による。
 - 防水受けつばの水抜き孔は、周囲等分3か所以上とする。

排 水 金 物

1. 適用範囲

この規格は、主として建築物に使用する排水金物について規定する。

2. 引用規格

JIS B 0202	管用平行ねじ
JIS B 2401	Oリング
JIS G 4303	ステンレス鋼棒
JIS G 4309	ステンレス鋼線
JIS G 5121	ステンレス鋼鑄鋼品
JIS G 5501	ねずみ鑄鉄品
JIS H 8617	ニッケルめっき及びニッケルクロムめっき
JIS H 5120	銅及び銅合金鑄物
JIS K 6380	ゴムパッキン材料

3. 種類及び呼び

排水金物の種類及び呼びは、表1のとおりとし、呼びは、その配管に用いる管の呼び径とする。

表1 種類及び呼び

種 類	呼 び	
排水共栓	SNA・SNA(SU)	40,50,65,80,100
	SNA-R・SNA-R(SU)	40,50,65,80,100
	SNA-O・SNA-O(SU)	40,50,65,80,100
流し排水金物	SNB(ふた付き)	32,40,50,80
	SNC(ストレーナ付き)	32,40,50,80
床排水金物	C・C(SU)	40,50,65,80,100
	D・D(SU)	32,40,50,65,80,100,125,150,200

※ 共栓がゴム製の場合は種類の後に-Rと表記し、Oリング付は-Oと表記する。

ストレーナ、共栓及び金具枠がステンレス製の場合は種類の後に(SU)と表記する。

4. 性能

排水金物は、5.によって試験を行い、表2の規定に適合しなければならない。

表2 性能

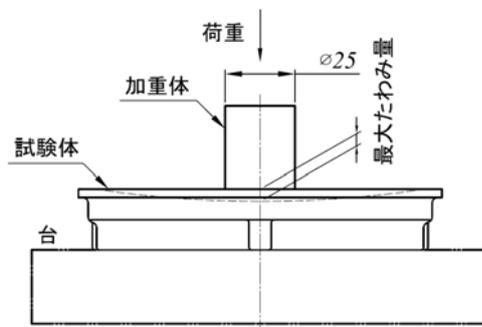
性能項目	性能	適用種類	適用箇条
耐荷重	破壊荷重 1kN 以上	床排水金物	5.1
止水	漏水量 0.3ℓ/h 以内	排水共栓	5.2
鎖の引張強さ	鎖、接続リングなどに破損が生じない事	排水共栓	5.3

5. 試験方法

5.1 耐荷重試験

図1に示す様に試験体の枠を全面で支え、試験体の中央にφ25の大きさの加重体を載せ、破壊試験荷重に達するか、最大たわみ量が3mmを超えるまで徐々に荷重を加え、試験を行う。

図1 荷重試験要領



5.2 止水試験

図2に示すような水槽にて、排水口を閉栓した後、ほぼ満水まで給水する。給水後、鎖を排水栓から約45cmの位置で引き上げて排水を行い、排水口付近の水深が約40cmまで低下したとき、排水栓を排水口の真上約1cmの位置から落とし込んで再び閉栓する。閉栓後1時間の漏水量を測定する。但し、鎖が短い場合には、鎖取付部から約10cmの位置をもって排水してもよい。

図2 止水試験要領

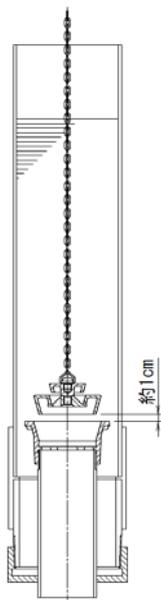


図3 鎖の引張強さ試験要領



5.3 鎖の引張強さ試験

図3に示すように、ばねばかりなどを用いて、排水栓側の接続リングに200Nの引張力を加え、鎖その他の部品の破損及び接続リングの変形の有無を調べる。

6. 構造

6.1 SNBは簡易密閉型とする。

6.2 SNC、C及びDのストレーナの孔径は、直径8mmの球が通過しないこと。ただし、最小寸法で設ける指掛孔は、この限りでない。

7. 形状及び寸法

形状及び寸法は、付表 1～6 による。ただし、形状は、参考として示したもので規格の一部ではない。

8. 外観

排水金物の内外面は滑らかで、割れ及び有害なキズ、イバリ、砂付などの欠点があってはならない。

9. 材料

9.1 材料

排水金物の材料は、付表 1～6 による。ただし、材料は、材料名欄に規定するもの又は同等以上のものとする。

9.2 めっき

9.2.1 めっきを施す前に、内外面ともさび、スケール、その他の付着物を除去しなければならない。

9.2.2 ストレーナ、共栓及び金具枠(黄銅铸件)のめっきは、JIS H 8617 によるニッケルクロムめっきの 2 級以上とする。

9.2.3 めっき面には、膨れ、はがれ、くもり、ピンホール、その他の欠点があってはならない。

10. 検査

10.1 検査の種類と検査箇条目

検査は、形式検査と受渡し検査とに区分し、検査の箇条目はそれぞれ次の通りとする。なお、形式検査は、製品開発時又は金型など主要設備の変更の際に実施する事とし、受渡し検査は、抜取り検査方式にて、1 生産ロットに対し最低 1.0%の抜取率とする。

10.1.1 形式検査箇条目

- (1) 性能検査
- (2) 構造
- (3) 形状及び寸法検査
- (4) 外観検査
- (5) 材料検査

10.1.2 受渡し検査箇条目

- (1) 形状及び寸法検査
- (2) 外観検査

10.2 性能検査

性能検査は、箇条 4.の規定に適合しなければならない。

10.3 構造検査

構造検査は、箇条 6.の規定に適合しなければならない。

10.4 形状及び寸法検査

形状及び寸法検査は、箇条 7.の規定に適合しなければならない。

10.5 外観検査

外観検査は、箇条 8.の規定に適合しなければならない。

10.6 材料検査

材料検査は、箇条 9.の規定に適合しなければならない。

11. 呼び方

排水金物の呼び方は、種類及び呼びによる。

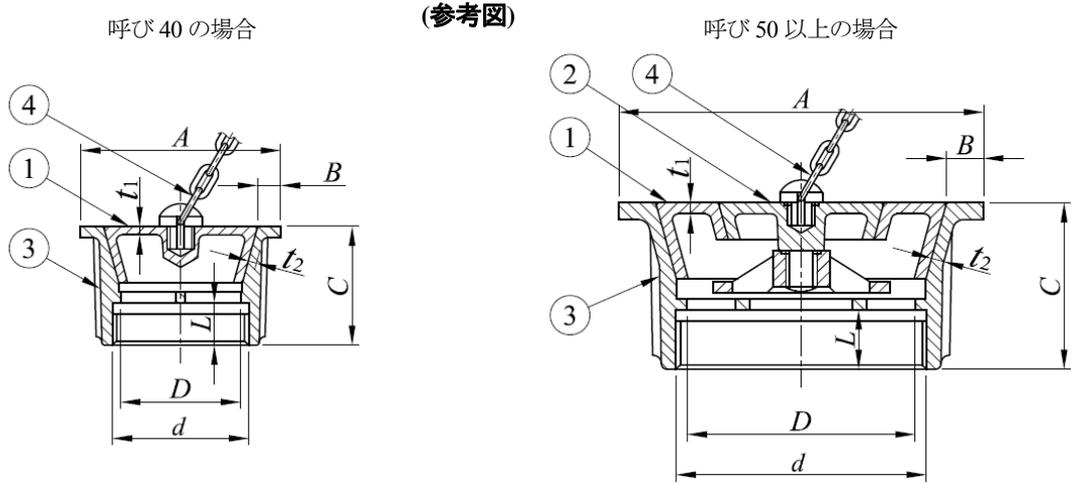
例 1. 排水共栓 SNA 40

例 2. 排水共栓 SNA-R(SU) 40

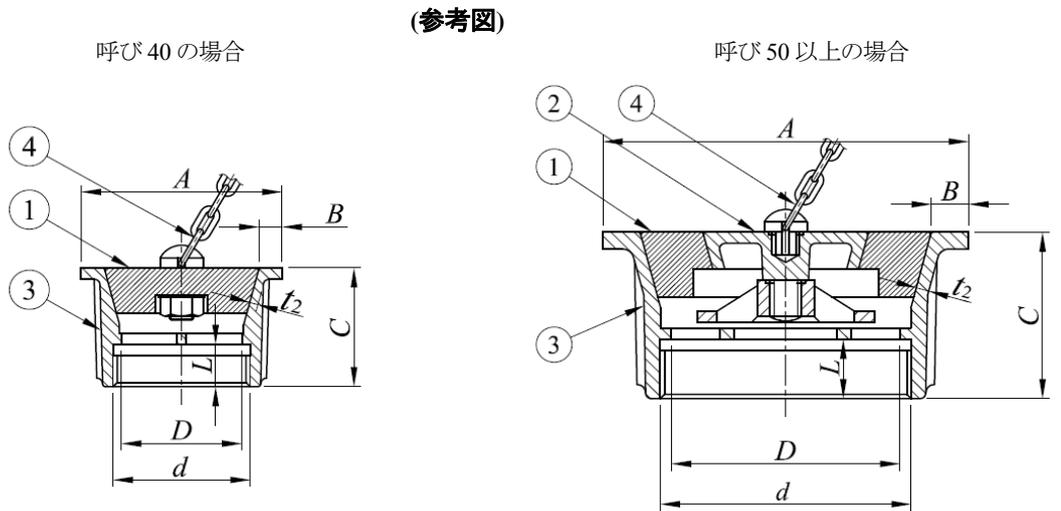
12. 表示

製品には、製造業者名又はその略号を表示しなければならない。

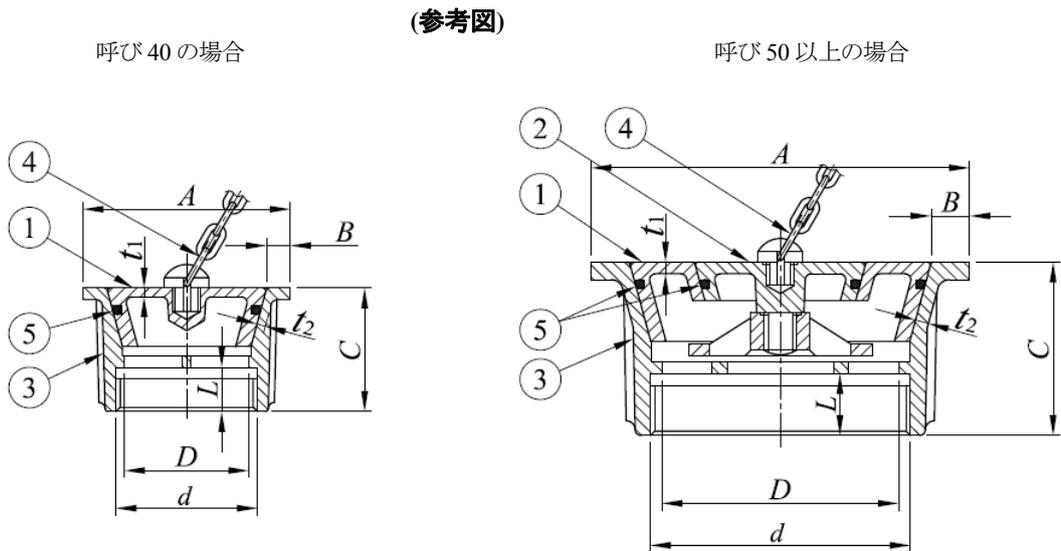
付表1 排水共栓(SNA)の材料, 形状及び寸法



付表2 排水共栓(SNA-R)の材料, 形状及び寸法



付表3 排水共栓(SNA-O)の材料, 形状及び寸法



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	共栓	黄銅鑄物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼鑄鋼品 (SCS13)	JIS G 5121
		合成ゴム(EPDM,NBR,CR)	JIS K 6380
2	補助栓	黄銅鑄物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼鑄鋼品 (SCS13)	JIS G 5121
3	金具枠	黄銅鑄物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼鑄鋼品 (SCS13)	JIS G 5121
4	鎖	ステンレス鋼線 (SUS304)	JIS G 4309
5	Oリング	合成ゴム(EPDM,NBR)	JIS B 2401

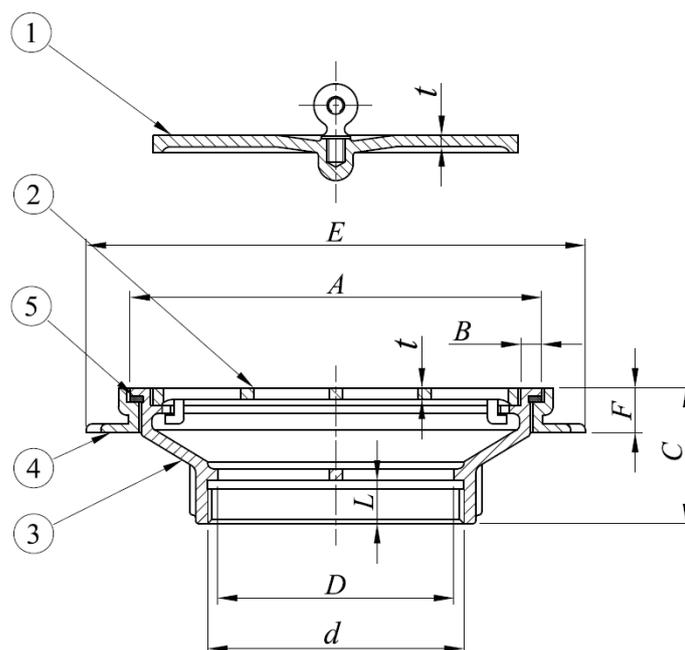
寸法

単位 mm

種類	呼び	d ねじ基準径	D (最小)	A (最小)	B (最小)	C (最小)	L (最小)	t_1 (最小)	t_2 (最小)
SNA	40	47.803	40	70	8	42	15	3.0	3.0
SNA(SU)	50	59.614	50	85	9	48	17	3.0	3.5
SNA-R	65	75.184	65	105	11	55	18	3.0	4.0
SNA-R(SU)	80	87.884	80	125	13	58	19	4.0	4.5
SNA-O	100	113.030	100	160	15	68	24	4.0	5.0

- 備考**
- ねじ部 d は、**JIS B 0202**(管用平行ねじ)による。
 - ゴム栓の肉厚及びOリングの径は、特に規定しない。

付表4 流し排水金物(SNB,SNC)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	ふた	黄銅鑄物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼鑄鋼品 (SCS13)	JIS G 5121
2	ストレーナ	黄銅鑄物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼鑄鋼品 (SCS13)	JIS G 5121
3	金具枠	黄銅鑄物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼鑄鋼品 (SCS13)	JIS G 5121
4	埋込み金具	黄銅鑄物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼鑄鋼品 (SCS13)	JIS G 5121
5	パッキン	合成ゴム (EPDM, NBR, CR)	JIS K 6380

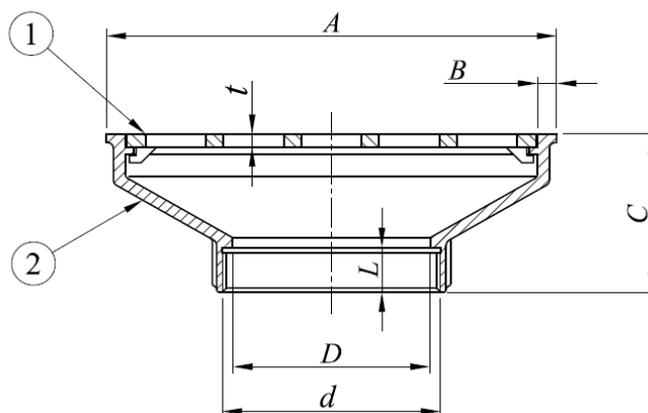
寸法

単位 mm

種類	呼び	d ねじ基準径	D (最小)	A (最小)	B (最小)	C (最小)	E (最小)	F (最小)	L (最小)	t (最小)
SNB SNB(SU) SNC SNC(SU)	32	41.910	32	60	6	35	90	14	10	3.0
	40	47.803	40	75	6	40	105	14	10	3.0
	50	59.614	50	95	6	40	125	14	10	3.0
	80	87.884	80	140	6	45	170	16	10	3.0

備考 ねじ部 d は, JIS B 0202(管用平行ねじ)による。

付表5 床排水金物(C)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	ストレーナ	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
2	金具枠	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121

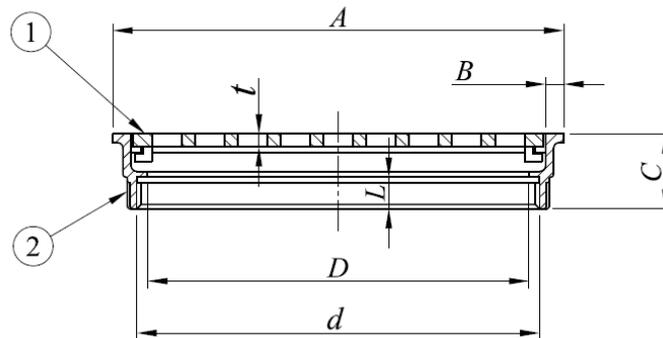
寸法

単位 mm

種類	呼び	d ねじ基準径	D (最小)	A (最小)	B (最小)	C (最小)	L (最小)	t (最小)
C C(SU)	40	47.803	40	100	6	45	10	3.5
	50	59.614	50	130	6	50	10	3.5
	65	75.184	65	155	6	55	10	4.5
	80	87.884	80	180	6	60	10	5.5
	100	113.030	100	215	6	65	10	5.5

備考 ねじ部 d は, JIS B 0202(管用平行ねじ)による。

付表 6 床排水金物(D)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	ストレーナ	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121
2	金具枠	黄銅铸件 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120
		ステンレス鋼棒 (SUS304)	JIS G 4303
		ステンレス鋼铸件 (SCS13)	JIS G 5121

寸法

単位 mm

種類	呼び	d ねじ基準径	D (最小)	A (最小)	B (最小)	C (最小)	L (最小)	t (最小)
D D(SU)	32	41.910	32	55	6	20	10	2.5
	40	47.803	40	60	6	20	10	2.5
	50	59.614	50	70	6	20	10	2.5
	65	75.184	65	90	6	22	10	3.0
	80	87.884	80	100	6	22	10	3.5
	100	113.030	100	130	6	22	10	3.5
	125	138.430	125	155	6	26	10	4.5
	150	163.830	150	180	6	26	10	5.5
200	214.630	200	230	6	26	10	5.5	

備考 ねじ部 d は, JIS B 0202(管用平行ねじ)による。

通 気 金 具

1. 適用範囲

この規格は、主として排水通気配管に用いる通気金具について規定する。

2. 引用規格

JIS B 0203	管用テーパねじ
JIS G 5501	ねずみ鑄鉄品
JIS G3452	配管用炭素鋼鋼管
JIS H 5120	銅及び銅合金鑄物
JIS H 5202	アルミニウム合金鑄物
JIS H 8617	ニッケルめっき及びニッケルクロムめっき
JIS H 8641	溶融亜鉛めっき

3. 種類及び呼び

通気金具の種類及び呼びは、表1のとおりとし、呼びは、その配管に用いる管の呼び径とする。

表1 種類及び呼び

種 類		呼 び
埋込型	VA2	50, 80, 100
	VC-BF	50, 65, 80, 100, 125, 150
	VC-BA	
露出型	VC-EF	50, 65, 80, 100, 125, 150
	VC-EA	

4. 構造

通気金具の有効開口面積は、接続する通気管の内径断面積以上とする。

5. 形状及び寸法

形状及び寸法は、付表1~3による。ただし、形状は、参考として示したもので規格の一部ではない。

6. 外観

通気金具の内外面は滑らかで、割れ及び有害なキズ、イバリ、砂付などの欠点があってはならない。

7. 材料

7.1 材料

通気金具の材料は、付表1~3による。ただし、材料は、材料名欄に規定するもの又は同等以上のものとする。

7.2 塗装

塗装を施す場合は次による。

7.2.1 塗装は、内外面とも塗装しなければならない。

7.2.2 塗装を行う前に、内外面ともさび、スケール、その他の付着物を除去しなければならない。

7.2.3 塗装は樹脂塗装又は水溶性合成樹脂焼付塗装のいずれかによる。

7.2.4 塗装面には、泡、膨れ、はがれ、塗りだまり、塗り残し、異物の付着、著しい粘着、その他の欠点がなく、滑らかでなければならない。

備考 受渡当事者間の協定によって、上記以外の塗装を行ってもよい。

7.3 めっき

めっきを施す場合は次による。

7.3.1 めっきを施す前に、内外面ともさび、スケール、その他の付着物を除去しなければならない。

7.3.2 熔融亜鉛めっきは、**JIS H 8641**に規定する2種HDZ50以上とする。

7.3.3 ニッケルクロムめっきは、**JIS H 8617**によるニッケルクロムめっきの2級以上とする。(ただし見え掛り部は、つや消しとする。)

7.3.4 めっき面には、膨れ、はがれ、くもり、ピンホール、その他の欠点があってはならない。

8. 検査

8.1 検査の種類と検査箇条目

検査は、形式検査と受渡し検査とに区分し、検査の箇条目はそれぞれ次の通りとする。なお、形式検査は、製品開発時又は金型など主要設備の変更の際に実施する事とし、受渡し検査は、抜取り検査方式にて、1生産ロットに対し最低1.0%の抜取率とする。

8.1.1 形式検査箇条目

- (1) 構造
- (2) 形状及び寸法検査
- (3) 外観検査
- (4) 材料検査

8.1.2 受渡し検査箇条目

- (1) 形状及び寸法検査
- (2) 外観検査

8.2 構造検査

構造検査は、箇条4の規定に適合しなければならない。

8.3 形状及び寸法検査

形状及び寸法検査は、箇条5の規定に適合しなければならない。

8.4 外観検査

外観検査は、箇条6の規定に適合しなければならない。

8.5 材料検査

材料検査は、箇条7の規定に適合しなければならない。

9. 呼び方

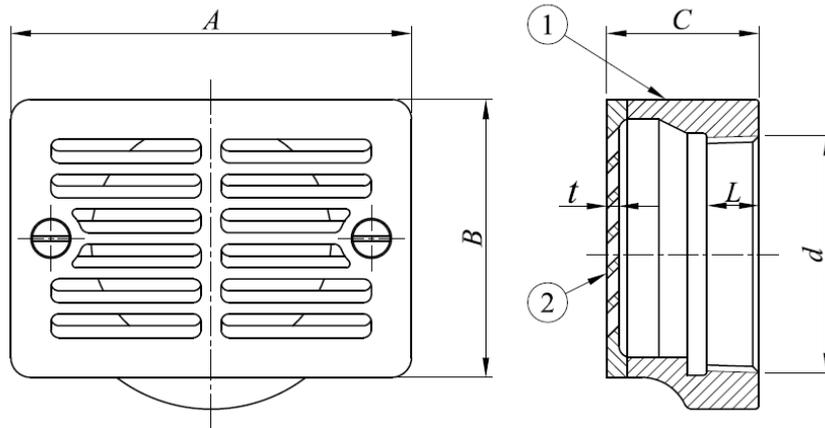
通気金具の呼び方は、種類及び呼びによる。

例. 通気金具 VA2 50

10. 表示

製品には、製造業者名又はその略号を表示しなければならない。

付表1 埋込型(VA2)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	ふた	黄銅鋳物 (CAC202・CAC203)	JIS H 5120

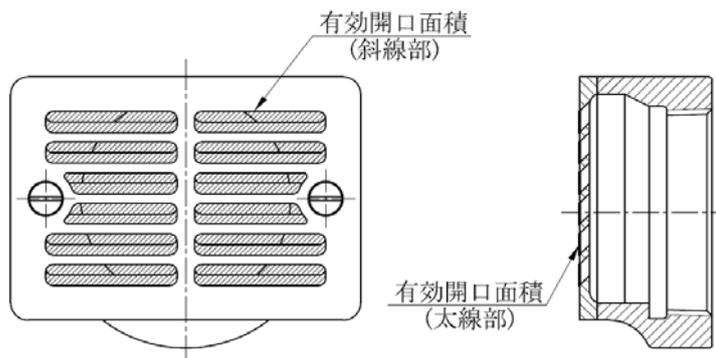
- 備考 1. 本体は溶融亜鉛めっきを施すこと。
2. ふたはニッケルクロムめっきを施すこと。

寸法

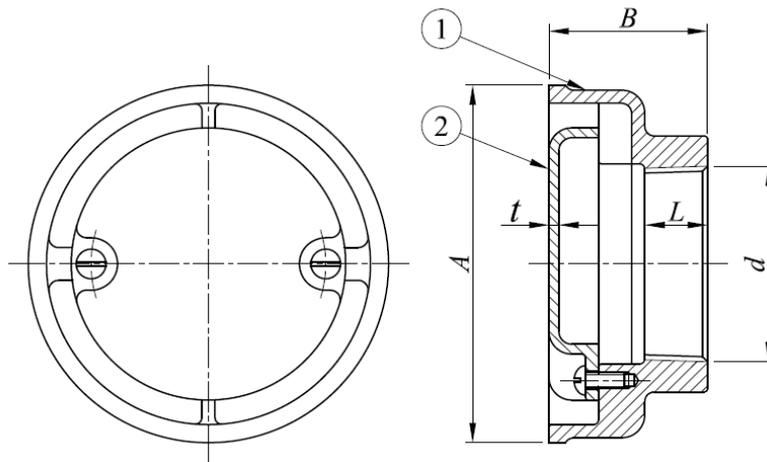
単位 mm

種類	呼び	d ねじ基準径	A (最小)	B (最小)	C (最小)	L (最小)	t (最小)	有効開口面積 (最小)[cm ²]
VA2	50	59.614	100	70	30	13	3	21.98
	80	87.884	155	100	35	17	4	51.15
	100	113.030	190	130	50	21	6	87.09

- 備考 ねじ部 d は, JIS B 0203(管用テーパねじ)による。
有効開口面積(最小)とは, 通気金具の有効開口部の最小断面積です。(下図参照)



付表2 埋込型(VC-BF及びVC-BA)の材料、形状及び寸法
(参考図)



材料 VC-BF

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	ふた	ねずみ鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501

備考 本体及びふたは溶融亜鉛めっき又は塗装を施すこと。

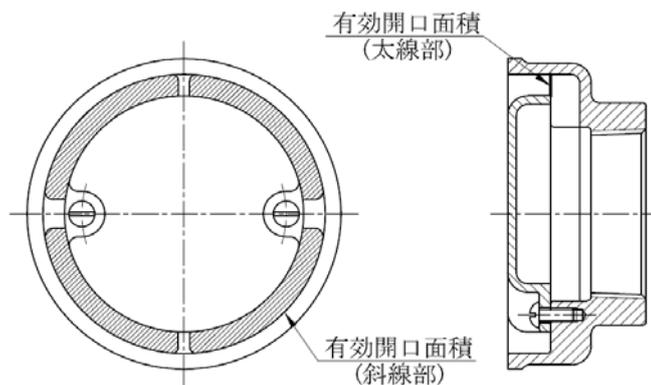
材料 VC-BA

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	アルミニウム合金铸件 (AC7A)	JIS H 5202
2	ふた	アルミニウム合金铸件 (AC7A)	JIS H 5202

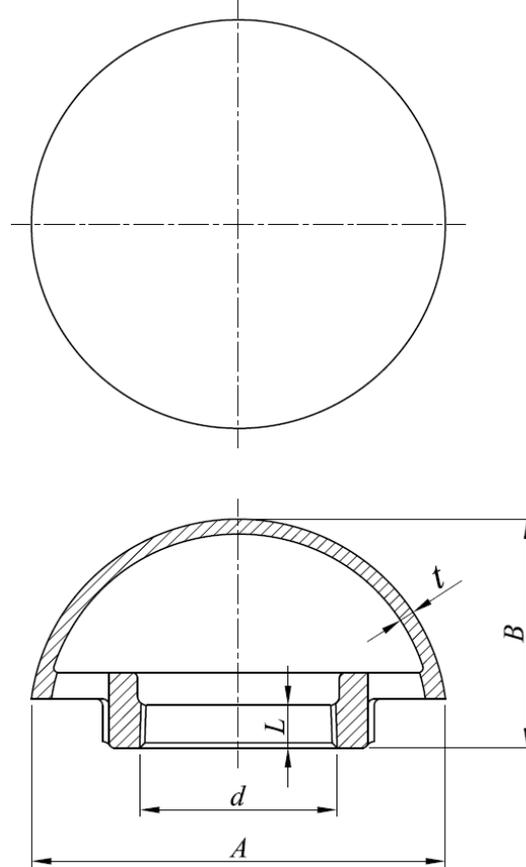
寸法		単位 mm					
種類	呼び	d ねじ基準径	A (最小)	B (最小)	L (最小)	t (最小)	有効開口面積 (最小)[cm ²]
VC-BF	50	59.614	109	46	13	3.0	21.98
	65	75.184	134	52	15	3.0	36.21
	80	87.884	154	60	17	3.5	51.15
VC-BA	100	113.030	190	70	21	4.0	87.09
	125	138.430	230	75	23	4.5	134.37
	150	163.830	275	75	24	4.5	189.18

備考 ねじ部 d は、JIS B 0203(管用テーパねじ)による。

有効開口面積(最小)とは、通気金具の有効開口部の最小断面積です。(下図参照)



付表3 露出型(VC-EF 及び VC-EA)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

種類	材料名	適用規格
VC-EF	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
VC-EA	アルミニウム合金鋳物 (AC7A)	JIS H 5202

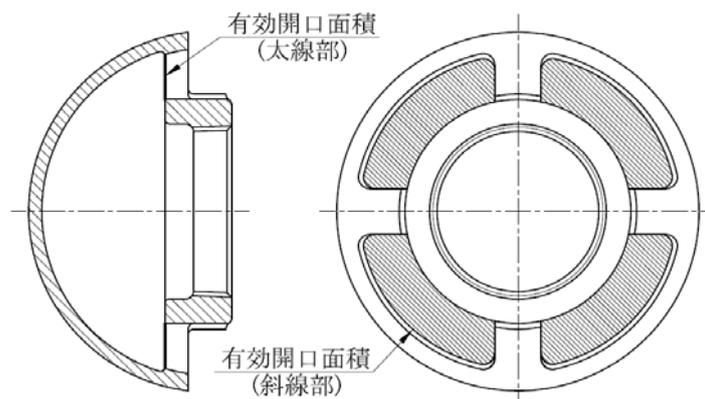
備考 VC-EF は溶融亜鉛めっき又は塗装を施すこと。

寸法

単位 mm

種類	呼び	d ねじ基準径	A (最小)	B (最小)	L (最小)	t (最小)	有効開口面積 (最小)[cm ²]
VC-EF	50	59.614	111	54	13	4.0	21.98
	65	75.184	134	63	15	4.0	36.21
	80	87.884	157	70	17	4.5	51.15
VC-EA	100	113.030	198	80	21	4.5	87.09
	125	138.430	241	97	23	5.0	134.37
	150	163.830	274	112	24	5.5	189.18

備考 ねじ部 d は, JIS B 0203(管用テーパねじ)による。
有効開口面積(最小)とは, 通気金具の有効開口部の最小断面積です。(下図参照)



弁 枴 ふ た

1. 適用範囲

この規格は、弁枴に使用する鑄鉄製ふた(以下、弁枴ふたという。)について規定する。

2. 引用規格

JIS G 5501	ねずみ鑄鉄品
JIS K 6380	ゴムパッキン材料
SHASE-S 209	鑄鉄製マンホールふた

3. 種類及び呼び

弁枴ふたの種類及び呼びは、表1のとおりとし、呼びは、枴の有効内径で表わす。

表1 種類及び呼び

種類	呼び	弁の呼び径
B-1	150	40 以下
MHA-P	300	50~80
	450	100~200

4. 性能

弁枴ふたの性能は5.によって試験を行い、表2の破壊試験荷重以下で破壊されてはならない。

表2 加重体の大きさと試験荷重

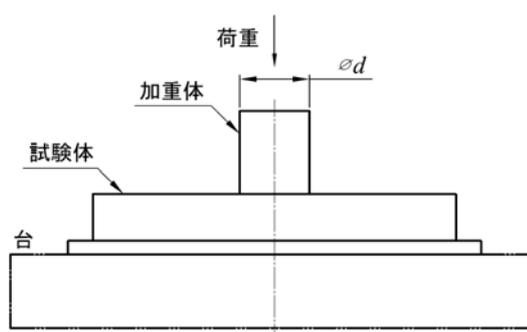
種類	大きさの呼び	加重体の大きさ ϕd [mm]	破壊試験荷重 [kN]	安全荷重 [kN]
B-1	150	100	10	2.5
MHA-P	300	170	60	15
	450	170	60	15

5. 試験方法

5.1 荷重試験

図1に示す様に試験体の枴を全面で支え、ふた(試験体)の中央に表2に示す加重体を載せ、破壊試験荷重に達するまで徐々に荷重を加え試験を行う。

図1 荷重試験要領



6. 構造

弁柵ふたのふたと枠の合わせ面は、がたつきがあってはならない。

7. 形状及び寸法

形状及び寸法は、付表 1～2 による。ただし、形状は、参考として示したもので規格の一部ではない。

8. 外観

弁柵ふたの内外面は滑らかで、割れ及び有害なキズ、イバリ、砂付などの欠点があってはならない。

9. 材料

9.1 材料

弁柵ふたの材料は、付表 1～2 による。ただし、材料は、材料名欄に規定するもの又は同等以上のものとする。

9.2 塗装

9.2.1 弁柵ふたは、内外面とも塗装しなければならない。

9.2.2 塗装を行う前に、内外面ともさび、スケール、その他の付着物を除去しなければならない。

9.2.3 塗装は樹脂塗装又は水溶性合成樹脂焼付塗装のいずれかによる。

9.2.4 塗装面には、泡、膨れ、はがれ、塗りだまり、塗り残し、異物の付着、著しい粘着、その他の欠点がなく、滑らかでなければならない。

備考 受渡当事者間の協定によって、上記以外の塗装を行ってもよい。

10. 検査

10.1 検査の種類と検査箇条目

検査は、形式検査と受渡し検査とに区分し、検査の箇条目はそれぞれ次の通りとする。なお、形式検査は、製品開発時又は金型など主要設備の変更の際に実施する事とし、受渡し検査は、抜取り検査方式にて、1 生産ロットに対し最低 1.0%の抜取率とする。

10.1.1 形式検査箇条目

- (1) 性能検査
- (2) 構造
- (3) 形状及び寸法検査
- (4) 外観検査
- (5) 材料検査

10.1.2 受渡し検査箇条目

- (1) 形状及び寸法検査
- (2) 外観検査

10.2 性能検査

性能検査は、箇条 4.の規定に適合しなければならない。

10.3 構造検査

構造検査は、箇条 6.の規定に適合しなければならない。

10.4 形状及び寸法検査

形状及び寸法検査は、箇条 7.の規定に適合しなければならない。

10.5 外観検査

外観検査は、箇条 8.の規定に適合しなければならない。

10.6 材料検査

材料検査は、箇条 9.の規定に適合しなければならない。

11. 呼び方

弁柵ふたの呼び方は、種類及び呼びによる。

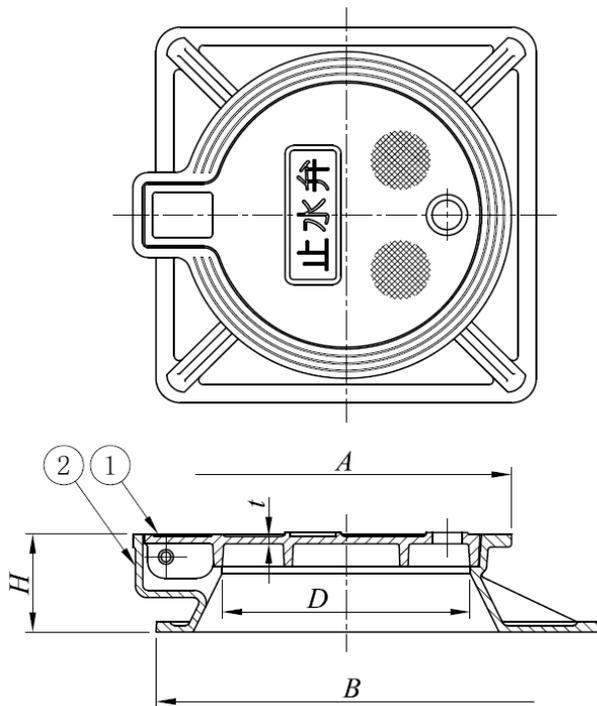
例. 弁柵ふた B-1 150

12. 表示

ふたの表面には、「止水弁」の文字を鋳出しすること。

製品には、種類及び製造業者名又はその略号を表示しなければならない。

付表1 弁榭ふた(B-1)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

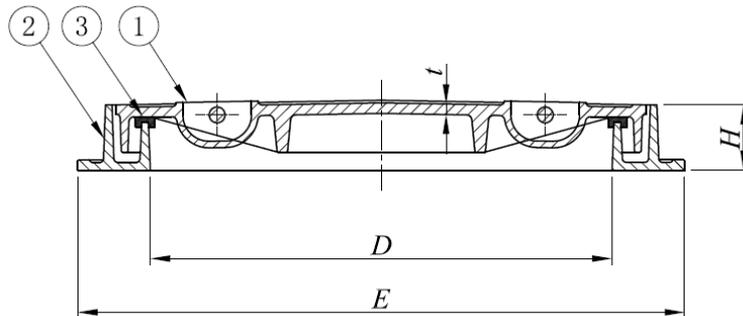
番号	名称	材料名	適用規格
1	ふた	ねずみ鋳鉄品 (FC200)	JIS G 5501
2	枠	ねずみ鋳鉄品 (FC200)	JIS G 5501

寸法

単位 mm

種類	呼び	D (最小)	A (最小)	B (最小)	H (最小)	t (最小)
B-1	150	150	200	220	60	3

付表2 弁榭ふた(MHA-P)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	ふた	ねずみ鋳鉄品 (FC200)	JIS G 5501
2	枠	ねずみ鋳鉄品 (FC200)	JIS G 5501
3	パッキン	合成ゴム (CR など)	JIS K 6380

寸法

単位 mm

種類	呼び	D (最小)	E (最小)	H (最小)	t (最小)
MHA-P	300	300	410	50	6
	450	450	560	50	7

弁 き よ う

1. 適用範囲

この規格は、地下埋込式の止水弁及び制水弁に用いる鑄鉄製弁きょう(以下、弁きょうという。)について規定する。

2. 引用規格

JIS G 3452	配管用炭素鋼鋼管
JIS G 5501	ねずみ鑄鉄品
JIS K 6741	硬質ポリ塩化ビニル管

3. 種類及び呼び

弁きょうの種類及び呼びは、表1のとおりとし、呼びは、接続管の呼び径で表わす。

表1 種類及び呼び

種類	呼び	弁の呼び径
B5-1	80	50 以下
B5-2		
B6-1A	125	100 以下
B6-1B		
B6-2A		150 以下
B6-2B		

備考 1. 接続管の管種によって、呼びの実内径は異なる。

4. 性能

弁きょうの性能は、5.によって試験を行い、表2の破壊試験荷重以下で破壊されてはならない。

表2 加重体の大きさと試験荷重

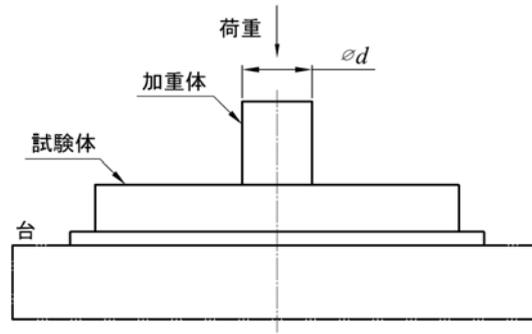
種類	大きさの呼び	加重体の大きさ ϕd [mm]	破壊試験荷重 [kN]	安全荷重 [kN]
B-5	80	60	5	1.25
B-6	125	100	10	2.5

5. 試験方法

5.1 荷重試験

図1に示す様に試験体の枠を全面で支え、ふた(試験体)の中央に表2に示す加重体を載せ、破壊試験荷重に達するまで徐々に荷重を加え試験を行う。

図1 荷重試験要領



6. 構造

弁きょうのふたと枠の合わせ面は、がたつきがあってはならない。

7. 形状及び寸法

形状及び寸法は、付表1～2による。ただし、形状は、参考として示したもので規格の一部ではない。

8. 外観

弁きょうの内外面は滑らかで、割れ及び有害なキズ、イバリ、砂付などの欠点があってはならない。

9. 材料

9.1 材料

弁きょうの材料は、付表1～2による。ただし、材料は、材料名欄に規定するもの又は同等以上のものとする。

9.2 塗装

9.2.1 鋳鉄品は、内外面とも塗装しなければならない。

9.2.2 塗装を行う前に、内外面ともさび、スケール、その他の付着物を除去しなければならない。

9.2.3 塗装は樹脂塗装又は水溶性合成樹脂焼付塗装のいずれかによる。

9.2.4 塗装面には、泡、膨れ、はがれ、塗りだまり、塗り残し、異物の付着、著しい粘着、その他の欠点がなく、滑らかでなければならない。

備考 受渡当事者間の協定によって、上記以外の塗装を行ってもよい。

10. 検査

10.1 検査の種類と検査箇条目

検査は、形式検査と受渡し検査とに区分し、検査の箇条目はそれぞれ次の通りとする。なお、形式検査は、製品開発時又は金型など主要設備の変更の際に実施する事とし、受渡し検査は、抜取り検査方式にて、1生産ロットに対し最低1.0%の抜取率とする。

10.1.1 形式検査箇条目

- (1) 性能検査
- (2) 構造
- (3) 形状及び寸法検査
- (4) 外観検査
- (5) 材料検査

10.1.2 受渡し検査箇条目

- (1) 形状及び寸法検査
- (2) 外観検査

10.2 性能検査

性能検査は、箇条4の規定に適合しなければならない。

10.3 構造検査

構造検査は、箇条6の規定に適合しなければならない。

10.4 形状及び寸法検査

形状及び寸法検査は、簡条 7.の規定に適合しなければならない。

10.5 外観検査

外観検査は、簡条 8.の規定に適合しなければならない。

10.6 材料検査

材料検査は、簡条 9.の規定に適合しなければならない。

11. 呼び方

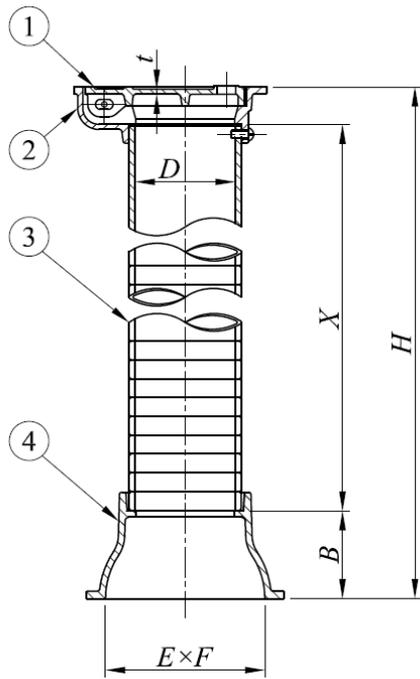
弁きょうの呼び方は、種類及び呼びによる。

例. 弁きょう B5-1

12. 表示

製品には、種類及び製造業者名又はその略号を表示しなければならない。

付表1 弁きょう(B5)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	ふた	ねずみ鉄品 (FC200)	JIS G 5501
2	杵	ねずみ鉄品 (FC200)	JIS G 5501
3	接続管	ねずみ鉄品 (FC200)	JIS G 5501
		配管用炭素鋼鋼管(SGP)	JIS G 3452
		硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	JIS K 6741
4	台	ねずみ鉄品 (FC200)	JIS G 5501

備考 1. 接続管のうち配管用炭素鋼鋼管は, 白管とする。
2. 参考図は, 専用鉄管を示す。

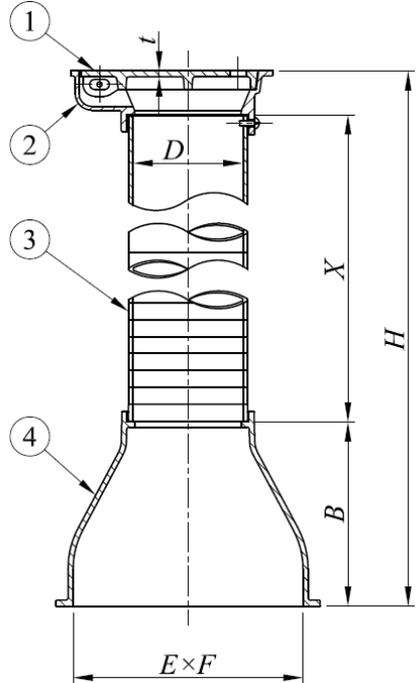
寸法

単位 mm

種類	呼び	D (最小)	H (最小)	X (最小)	t (最小)	B (最小)	E (最小)	F (最小)
B5-1	80	75	1,270	500	4	70	126	126
B5-2	80	75	690	320	4	70	126	126

備考 X寸法は, 専用鉄管の場合を表わす。

付表2 弁きょう(B6)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	ふた	ねずみ鉄品 (FC200)	JIS G 5501
2	杵	ねずみ鉄品 (FC200)	JIS G 5501
3	接続管	ねずみ鉄品 (FC200)	JIS G 5501
		配管用炭素鋼鋼管(SGP)	JIS G 3452
		硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	JIS K 6741
4	台	ねずみ鉄品 (FC200)	JIS G 5501

備考 1. 接続管のうち配管用炭素鋼鋼管は, 白管とする。
2. 参考図は, 専用鉄管を示す。

寸法

単位 mm

種類	呼び	D (最小)	H (最小)	X (最小)	t (最小)	B (最小)	E (最小)	F (最小)
B6-1A	125	125	1,620	500	6	220	270	215
B6-1B	125	125	1,120					
B6-2A	125	125	1,660	500	6	260	330	235
B6-2B	125	125	1,160					

備考 X寸法は, 専用鉄管の場合を表わす。

量水器柵ふた

1. 適用範囲

この規格は、屋内及び敷地内の量水器柵に用いる鑄鉄製量水器柵ふた(以下、量水器柵ふたという。)について規定する。

2. 引用規格

JIS B 3101	一般構造用圧延鋼材
JIS G 4309	ステンレス鋼線
JIS G 5501	ねずみ鑄鉄品
JIS H 8641	溶融亜鉛めっき

3. 種類及び呼び

量水器柵ふたの種類は、表1のとおりとする。

表1 種類

種類	量水器の呼び径
MB-1	25~32
MB-2	40~65
MB-3	80~150

4. 性能

量水器柵ふたの性能は、5.によって試験を行い、表2の破壊試験荷重以下で破壊されてはならない。

表2 加重体の大きさと試験荷重

種類	加重体の大きさ ϕd [mm]	破壊試験荷重 [kN]	安全荷重 [kN]
MB-1	150	20	5
MB-2	150	20	5
MB-3	150	20	5

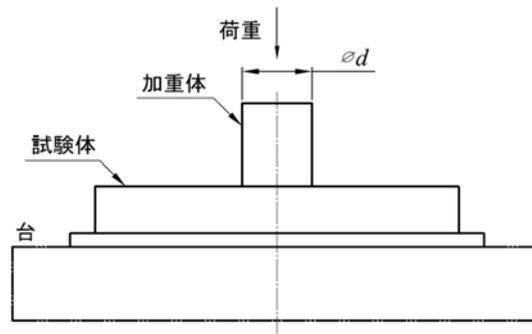
5. 試験方法

5.1 荷重試験

図1に示す様に柵を全面で支え、ふたの中央に表2に示す加重体を載せ、表2に示す破壊試験荷重に達するまで徐々に荷重を加え試験を行う。

また、試験体のふたが2枚ふたの場合、2枚のふたの合わせ面中央に加重体を載せた場合の試験も行う。

図1 荷重試験要領



6. 構造

量水器柵ふたのふたと枠の合わせ面は、がたつきがあってはならない。

7. 形状及び寸法

形状及び寸法は、付表 1~2 による。ただし、形状は、参考として示したもので規格の一部ではない。

8. 外観

量水器柵ふたの内外面は滑らかで、割れ及び有害なキズ、イバリ、砂付などの欠点があってはならない。

9. 材料

9.1 材料

量水器柵ふたの材料は、付表 1~2 による。ただし、材料は、材料名欄に規定するもの又は同等以上のものとする。

9.2 塗装

9.2.1 量水器柵ふたは、内外面とも塗装しなければならない。

9.2.2 塗装を行う前に、内外面ともさび、スケール、その他の付着物を除去しなければならない。

9.2.3 塗装は樹脂塗装又は水溶性合成樹脂焼付塗装のいずれかによる。

9.2.4 塗装面には、泡、膨れ、はがれ、塗りだまり、塗り残し、異物の付着、著しい粘着、その他の欠点がなく、滑らかでなければならない。

9.2.5 備考 受渡当事者間の協定によって、上記以外の塗装を行ってもよい。

9.3 めっき

めっきを施す場合は次による。

9.3.1 めっきを施す前に、内外面ともさび、スケール、その他の付着物を除去しなければならない。

9.3.2 熔融亜鉛めっきは、JIS H 8641 に規定する 2 種 HDZ50 以上とする。

9.3.3 めっき面には、膨れ、はがれ、くもり、ピンホール、その他の欠点があってはならない。

10. 検査

10.1 検査の種類と検査箇条目

検査は、形式検査と受渡し検査とに区分し、検査の箇条目はそれぞれ次の通りとする。なお、形式検査は、製品開発時又は金型など主要設備の変更の際に実施する事とし、受渡し検査は、抜取り検査方式にて、1 生産ロットに対し最低 1.0% の抜取率とする。

10.1.1 形式検査箇条目

- (1) 性能検査
- (2) 構造
- (3) 形状及び寸法検査
- (4) 外観検査
- (5) 材料検査

10.1.2 受渡し検査箇条目

- (1) 形状及び寸法検査
- (2) 外観検査

10.2 性能検査

性能検査は、簡条 4.の規定に適合しなければならない。

10.3 構造検査

構造検査は、簡条 6.の規定に適合しなければならない。

10.4 形状及び寸法検査

形状及び寸法検査は、簡条 7.の規定に適合しなければならない。

10.5 外観検査

外観検査は、簡条 8.の規定に適合しなければならない。

10.6 材料検査

材料検査は、簡条 9.の規定に適合しなければならない。

11. 呼び方

量水器榼ふたの呼び方は、種類による。

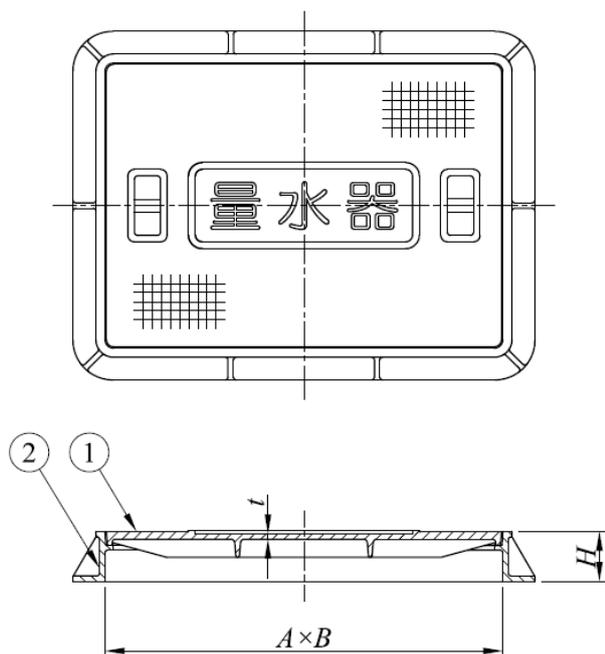
例. 量水器榼ふた MB-1

12. 表示

ふたの表面には、「量水器」の文字を鋳出しすること。

製品には、種類及び製造業者名又はその略号を表示しなければならない。

付表1 量水器柵ふた(MB-1)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	ふた	ねずみ鉄品 (FC200)	JIS G 5501
2	枠	ねずみ鉄品 (FC200)	JIS G 5501

備考 取っ手部に他材料を使用する場合は、ステンレス製又は、SS400の溶融亜鉛めっき仕上げとする。

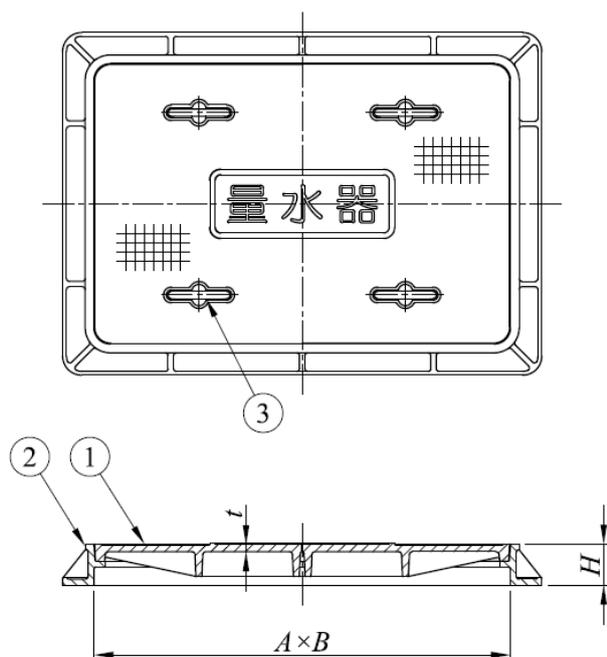
寸法

単位 mm

種類	標準寸法		H (最小)	t (最小)
	A	B		
MB-1	435	315	55	6

備考 ふたは、蝶番式でも可とする。

付表2 量水器柵ふた(MB-2 及び MB-3)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	ふた	ねずみ鉄品 (FC200)	JIS G 5501
2	枠	ねずみ鉄品 (FC200)	JIS G 5501
3	取っ手	ステンレス鋼線 (SUS304)	JIS G 4309
		一般構造用圧延鋼材 (SS400)	JIS B 3101

備考 取っ手のSS400材は、溶融亜鉛めっき仕上げとする。

寸法

単位 mm

種類	標準寸法		H (最小)	t (最小)
	A	B		
MB-2	715	515	75	12
MB-3	1,105	715	75	16

備考 枠は組立式でも可とする。

1. 適用範囲

この規格は、主として建築物のろく屋根及びバルコニーに使用する鑄鉄製ルーフドレンについて規定する。

2. 引用規格

JIS B 0203	管用テーパねじ
JIS G 5501	ねずみ鑄鉄品
JIS G 3101	一般構造用圧延鋼材
JIS G 3505	軟鋼線材
JIS G 4309	ステンレス鋼線
JIS H 3250	銅及び銅合金の棒
JIS H 3260	銅及び銅合金の線

3. 種類及び呼び

ルーフドレンの種類及び呼びは、表1のとおりとし、呼びは、その配管に用いる管の呼び径とする。

表1 種類及び呼び

種 類	種 類	呼 び
ろく屋根用たて形	RJ-AA (ねじ込み式)	80, 100, 125, 150
	RJ-AB (差し込み式)	75, 100, 125
ろく屋根用横形	RJ-BA (ねじ込み式)	80, 100, 125, 150
バルコニー中継用	RJ-CA (ねじ込み式)	50, 80, 100
	RJ-CB (差し込み式)	50, 75, 100
バルコニー用	RJ-DA (ねじ込み式)	50, 80, 100
	RJ-DB (差し込み式)	50, 75, 100

4. 形状及び寸法

ろく屋根用ルーフドレンの防水層張り掛け幅は、50mm以上とする。(図1,2 参照)

形状及び寸法は、付表1~7による。ただし、形状は、参考として示したもので規格の一部ではない。

図1 たて形の張り掛け幅

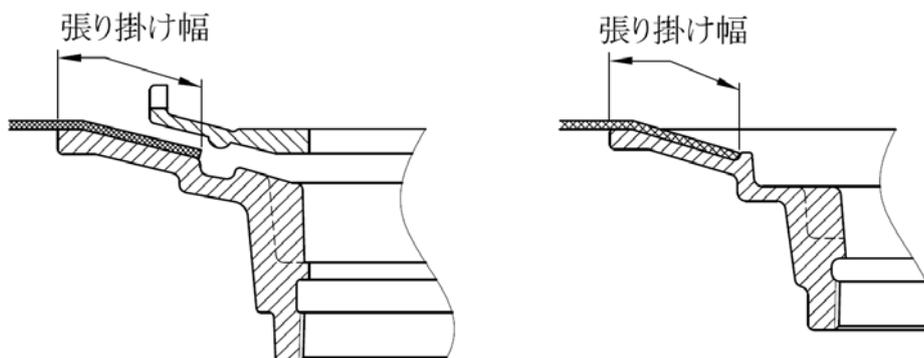
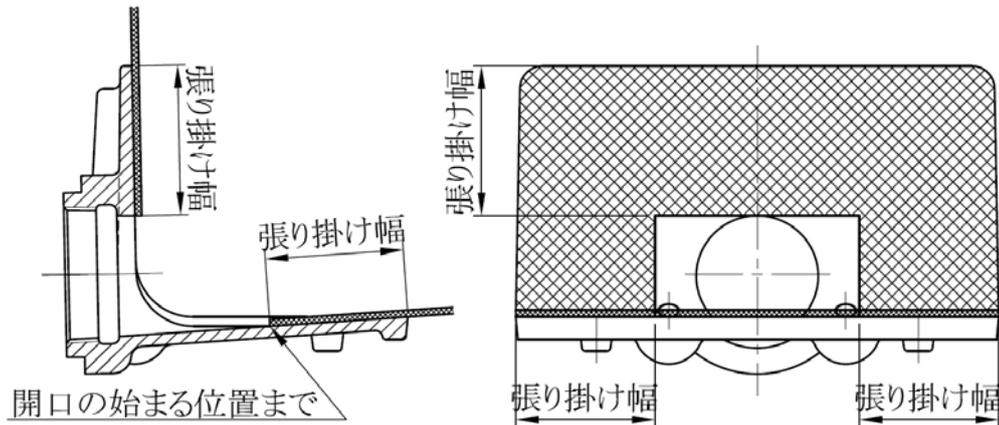


図2 横形の張り掛け幅



5. 外観

ルーフドレンの内外面は滑らかで、割れ及び有害なキズ、イバリ、砂付などの欠点があってはならない。

6. 材料

6.1 材料

材料は、付表 1~7 による。ただし、材料は、材料名欄に規定するもの又は同等以上のものとする。

6.2 塗装

6.2.1 ルーフドレンは、内外面とも塗装しなければならない。

6.2.2 塗装を行う前に、内外面ともさび、スケール、その他の付着物を除去しなければならない。

6.2.3 塗装は樹脂塗装又は水溶性合成樹脂焼付塗装のいずれかによる。

6.2.4 塗装面には、泡、膨れ、はがれ、塗りだまり、塗り残し、異物の付着、著しい粘着、その他の欠点がなく、滑らかでなければならない。

備考 受渡当事者間の協定によって、上記以外の塗装を行ってもよい。

7. 検査

7.1 検査の種類と検査箇条目

検査は、形式検査と受渡し検査とに区分し、検査の箇条目はそれぞれ次の通りとする。なお、形式検査は、製品開発時又は金型など主要設備の変更の際に実施する事とし、受渡し検査は、抜取り検査方式にて、1生産ロットに対し最低1.0%の抜取率とする。

7.1.1 形式検査箇条目

- (1) 性能検査
- (2) 構造
- (3) 形状及び寸法検査
- (4) 外観検査
- (5) 材料検査

7.1.2 受渡し検査箇条目

- (1) 形状及び寸法検査
- (2) 外観検査

7.2 形状及び寸法検査

形状及び寸法検査は、箇条 4.の規定に適合しなければならない。

7.3 外観検査

外観検査は、箇条 5.の規定に適合しなければならない。

7.4 材料検査

材料検査は、箇条 6.の規定に適合しなければならない。

8. 呼び方

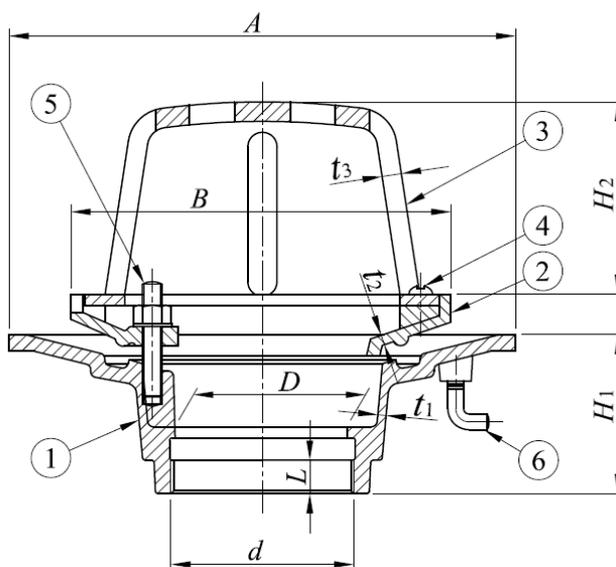
ルーフドレンの呼び方は、種類及び呼びによる。

例. ろく屋根用たて形ルーフドレン RJ-AA 100 (ねじ込み式)

9. 表示

製品には、製造業者名又はその略号を表示しなければならない。

付表1 ろく屋根用たて形ルーフトレン(RJ-AA)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	防水層押え	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
3	ストレーナ	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
4	ストレーナ固定小ねじ	ステンレス鋼線	JIS G 4309
		黄銅線	JIS H 3260
5	防水層押え締付けボルト	ステンレス鋼線	JIS G 4309
		快削黄銅棒	JIS H 3250
		黄銅線	JIS H 3260
		快削黄銅線	JIS H 3260
6	アンカーボルト	一般構造用圧延鋼材(SS400)	JIS G 3101
		軟鋼線材(SWRM8)	JIS G 3505

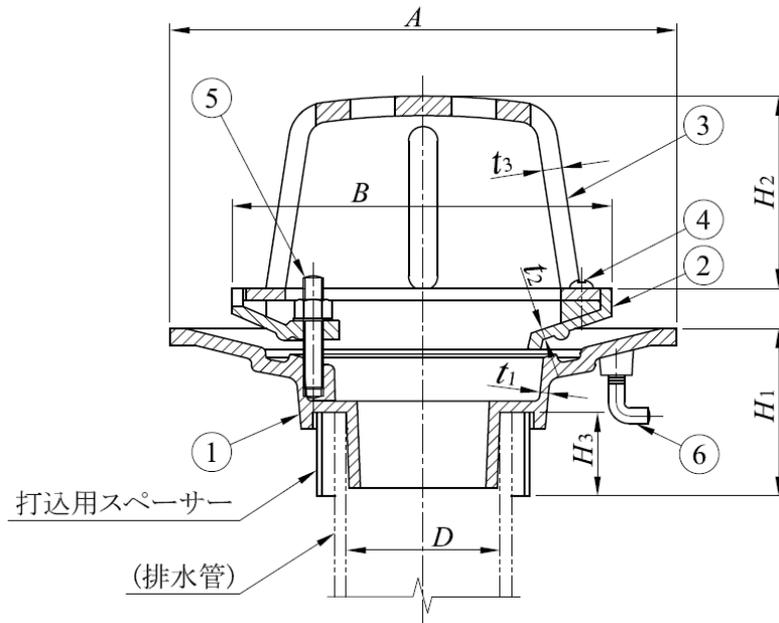
寸法

単位 mm

種類	呼び	D (最小)	d ねじ基準径	A (最小)	B (最小)	H ₁ (最小)	H ₂ (最小)	t ₁ (最小)	t ₂ (最小)	t ₃ (最小)	L (最小)
RJ-AA	80	80	87.884	230	210	60	100	4.0	4.0	4.5	17
	100	100	113.030	260	240	60	100	4.5	4.0	4.5	21
	125	125	138.430	290	270	65	100	4.5	4.0	4.5	23
	150	150	163.830	300	280	65	100	4.5	4.5	4.5	24

- 備考 1. ねじ部 d は, JIS B 0203(管用テーパねじ)による。
2. ストレーナの有効開口面積は, 流出側に接続する排水管の断面積の 1.5 倍以上とする。

付表2 ろく屋根用たて形ルーフトレン(RJ-AB)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	防水層押え	ねずみ鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
3	ストレーナ	ねずみ鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
4	ストレーナ固定小ねじ	ステンレス鋼線	JIS G 4309
		黄銅線	JIS H 3260
5	防水層押え締付けボルト	ステンレス鋼線	JIS G 4309
		快削黄銅棒	JIS H 3250
		黄銅線	JIS H 3260
6	アンカーボルト	一般構造用圧延鋼材(SS400)	JIS G 3101
		軟鋼線材(SWRM8)	JIS G 3505

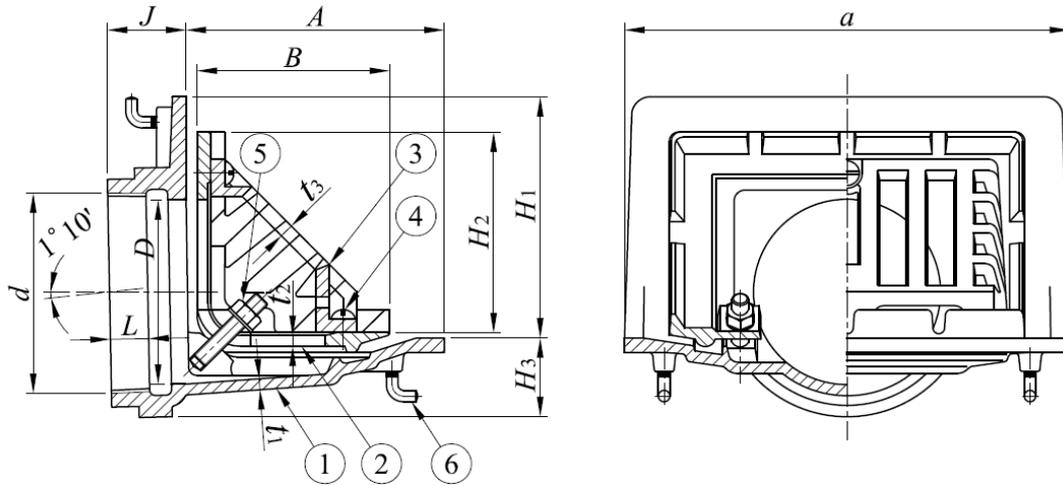
寸法

単位 mm

種類	呼び	D (最小)	A (最小)	B (最小)	H ₁ (最小)	H ₂ (最小)	H ₃ (最小)	t ₁ (最小)	t ₂ (最小)	t ₃ (最小)
RJ-AB	75	75	230	210	80	100	40	4.0	4.0	4.5
	100	100	260	240	80	100	40	4.5	4.0	4.5
	125	125	290	270	80	100	40	4.5	4.0	4.5

備考 1. ストレーナの有効開口面積は, 流出側に接続する排水管の断面積の 1.5 倍以上とする。

付表3 ろく屋根用横型ルーフトレン(RJ-BA)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	防水層押え	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
3	ストレーナ	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
4	ストレーナ固定小ねじ	ステンレス鋼線	JIS G 4309
		黄銅線	JIS H 3260
5	防水層押え締付けボルト	ステンレス鋼線	JIS G 4309
		快削黄銅棒	JIS H 3250
		黄銅線	JIS H 3260
		快削黄銅線	JIS H 3260
6	アンカーボルト	一般構造用圧延鋼材(SS400)	JIS G 3101
		軟鋼線材(SWRM8)	JIS G 3505

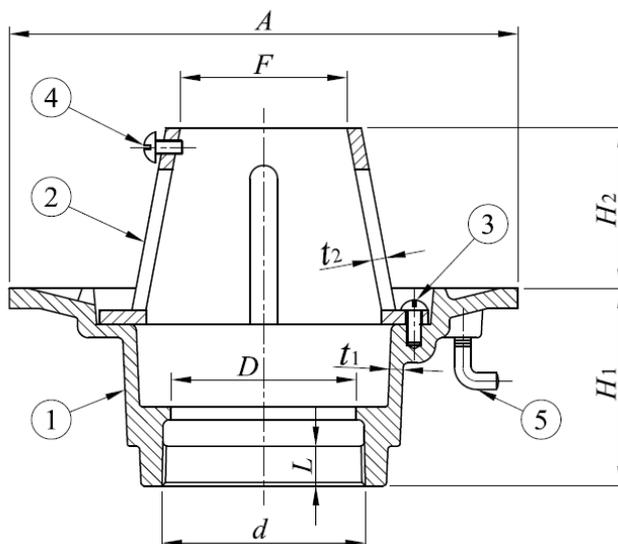
寸法

単位 mm

種類	呼び	D (最小)	d ねじ基準径	A (最小)	B (最小)	a (最小)	H ₁ (最小)	H ₂ (最小)	H ₃ (最小)	J (最小)	L (最小)	t ₁ (最小)	t ₂ (最小)	t ₃ (最小)
RJ-BA	80	80	87.884	123	95	200	113	119	17	34	17	4.0	4.0	4.0
	100	100	113.030	140	110	238	133	119	18	39	21	4.0	4.0	4.0
	125	125	138.430	153	133	260	153	133	20	44	23	4.5	4.0	4.5
	150	150	163.830	165	140	280	160	166	26	50	24	5.0	5.0	4.5

- 備考 1. ねじ部 d は, JIS B 0203(管用テーパねじ)による。
2. ストレーナの有効開口面積は, 流出側に接続する排水管の断面積の 1.5 倍以上とする。

付表4 バルコニー中継用ルーフトレン(RJ-CA)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	ストレーナ	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
3	ストレーナ固定小ねじ	ステンレス鋼線	JIS G 4309
		黄銅線	JIS H 3260
4	管固定小ねじ	ステンレス鋼線	JIS G 4309
		快削黄銅棒	JIS H 3250
		黄銅線	JIS H 3260
		快削黄銅線	JIS H 3260
5	アンカーボルト	一般構造用圧延鋼材(SS400)	JIS G 3101
		軟鋼線材(SWRM8)	JIS G 3505

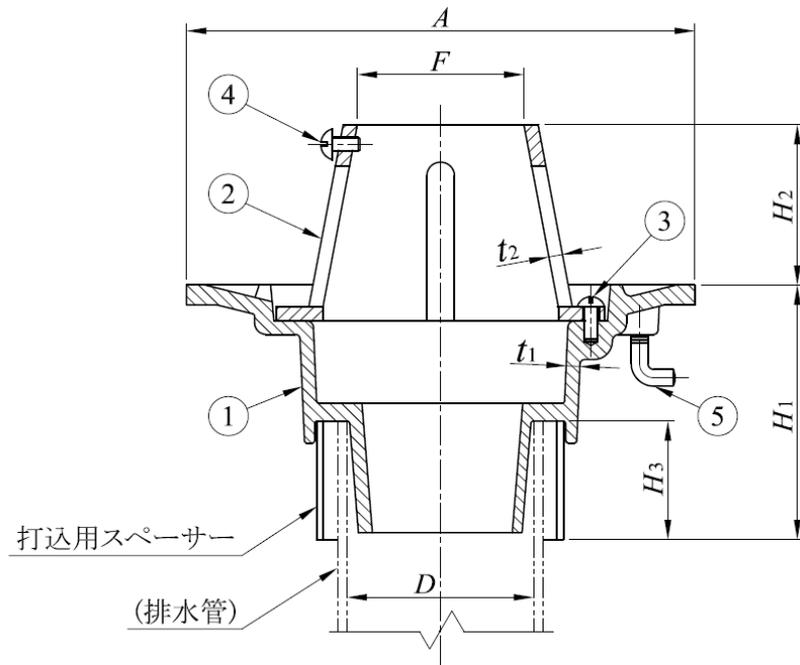
寸法

単位 mm

種類	呼び	D (最小)	d ねじ基準径	A (最小)	F (最小)	H ₁ (最小)	H ₂ (最小)	t ₁ (最小)	t ₂ (最小)	L (最小)
RJ-CA	50	50	59.614	170	64	60	60	4.0	3.5	13
	80	80	87.884	200	93	60	60	4.0	4.0	17
	100	100	113.030	230	116	60	60	4.0	4.5	21

- 備考 1. ねじ部 d は, JIS B 0203(管用テーパねじ)による。
2. ストレーナの有効開口面積は, 流出側に接続する排水管の断面積以上とする。

付表5 バルコニー中継用ルーフトレン(RJ-CB)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	ストレーナ	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
3	ストレーナ固定小ねじ	ステンレス鋼線	JIS G 4309
		黄銅線	JIS H 3260
4	管固定小ねじ	ステンレス鋼線	JIS G 4309
		快削黄銅棒	JIS H 3250
		黄銅線	JIS H 3260
		快削黄銅線	JIS H 3260
5	アンカーボルト	一般構造用圧延鋼材(SS400)	JIS G 3101
		軟鋼線材(SWRM8)	JIS G 3505

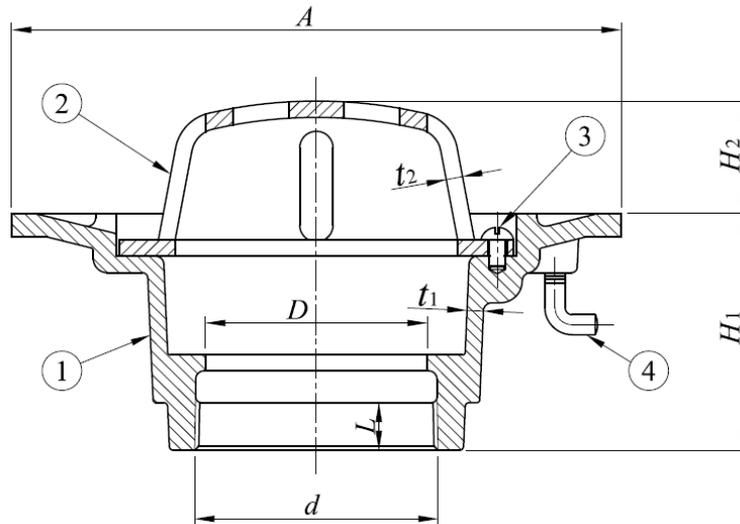
寸法

単位 mm

種類	呼び	D (最小)	A (最小)	F (最小)	H ₁ (最小)	H ₂ (最小)	H ₃ (最小)	t ₁ (最小)	t ₂ (最小)
RJ-CB	50	50	170	64	80	60	40	4.0	4.0
	75	75	200	93	80	60	40	4.0	4.0
	100	100	230	116	80	60	40	4.5	4.5

備考 1. ストレーナの有効開口面積は, 流出側に接続する排水管の断面積以上とする。

付表6 バルコニー用ルーフトレン(RJ-DA)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	ストレーナ	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
3	ストレーナ固定小ねじ	ステンレス鋼線	JIS G 4309
		黄銅線	JIS H 3260
4	アンカーボルト	一般構造用圧延鋼材(SS400)	JIS G 3101
		軟鋼線材(SWRM8)	JIS G 3505

寸法

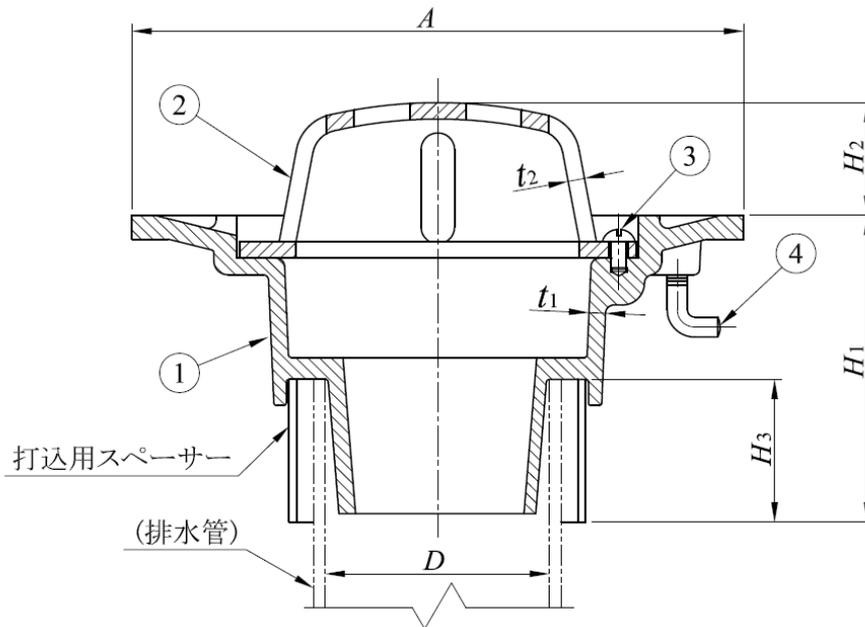
単位 mm

種類	呼び	D (最小)	d ねじ基準径	A (最小)	H ₁ (最小)	H ₂ (最小)	t ₁ (最小)	t ₂ (最小)	L (最小)
RJ-DA	50	50	59.614	170	60	13	4.0	3.5	13
	80	80	87.884	200	60	14	4.0	4.0	17
	100	100	113.030	230	60	17	4.0	4.0	21

備考 1. ねじ部 d は, JIS B 0203(管用テーパねじ)による。

2. ストレーナの有効開口面積は, 流出側に接続する排水管の断面積以上とする。

付表7 バルコニー用ルーフトレン(RJ-DB)の材料, 形状及び寸法
(参考図)



材料

番号	名称	材料名	適用規格
1	本体	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
2	ストレーナ	ねずみ鋳鉄品 (FC150・FC200)	JIS G 5501
3	ストレーナ固定小ねじ	ステンレス鋼線	JIS G 4309
		黄銅線	JIS H 3260
4	アンカーボルト	一般構造用圧延鋼材(SS400)	JIS G 3101
		軟鋼線材(SWRM8)	JIS G 3505

寸法

単位 mm

種類	呼び	D (最小)	A (最小)	H ₁ (最小)	H ₂ (最小)	H ₃ (最小)	t ₁ (最小)	t ₂ (最小)
RJ-DB	50	50	170	80	13	40	4.0	3.5
	75	75	200	80	14	40	4.0	4.0
	100	100	230	80	17	40	4.5	4.0

備考 1. ストレーナの有効開口面積は, 流出側に接続する排水管の断面積以上とする。

日本鑄鉄ふた・排水器具工業会 会員会社（50音順）

アンデス産業(株)	〒130-0011	東京都墨田区石原 4-14-12	TEL 03-3625-5561 FAX 03-3625-6248
伊藤鉄工(株)	〒332-0011	埼玉県川口市元郷 3-22-23	TEL 048-224-2745 FAX 048-222-3379
(株)オオタケファンドリー	〒455-0025	愛知県名古屋市港区本星崎町字南 4047番16	TEL 052-619-6288 FAX 052-619-6712
カネソウ(株)	〒510-8101	三重県三重郡朝日町大字縄生 81番地	TEL 0593-77-4747 FAX 0593-77-5691
(株)小島製作所	〒454-0027	愛知県名古屋市中川区広川町 5-1	TEL 052-361-6551 FAX 052-361-6556
西部機材(株)	〒812-0016	福岡県福岡市博多区博多駅南 6-11-20	TEL 092-431-4561 FAX 092-481-0734
第一機材(株)	〒115-0045	東京都北区赤羽 1-64-11	TEL 03-3902-3141 FAX 03-3902-9960
ダイドレ(株)	〒550-0011	大阪府大阪市西区阿波座 1-13-15	TEL 06-6531-4360 FAX 06-6531-4598
(株)中部コーポレーション	〒511-0944	三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰 1533-1	TEL 0594-32-1126 FAX 0594-32-1115
(株)ニムラ	〒511-0069	三重県桑名市新矢田 2-76	TEL 0594-22-2773 FAX 0594-22-2783
(株)長谷川鑄工所	〒332-0015	埼玉県川口市川口 1-5-14	TEL 048-226-3333 FAX 048-226-3318
福西鑄物(株)	〒550-0015	大阪府大阪市西区南堀江 4-25-17	TEL 06-6541-2924 FAX 06-6531-4994